

5876

教 授 要 目

付 研 究 指 導 要 項
付 卒 業 論 文 執 筆 要 領

昭 和 60 年 度

小 樽 商 科 大 学

小樽商科大学教授要目

目 次

	入学式	
	2.3.4年次開講	
学年暦	新入生オリエンテーション	
I 授業科目履修方法	1年次開講	1
1 昭和60年度開講科目	履修開始初日	1
2 履修方法	創立記念日	7
3 科目試験の受験について	履修科目の取消期間	28
II 教授要目	夏季集中講義	29
1 一般教育科目	夏季休業	29
2 外国語科目	前期定期試験	35
3 保健体育科目	後期授業開始	59
4 基礎教育科目	研究指導所編オリエンテーション	64
5 専門教育科目	研究指導所編発表	69
6 教職科目	履修科目の取消期間	104
III 研究指導要項	冬季集中講義	107
IV 一般教育ゼミ	卒業論文提出締切日	129
V 卒業論文執筆要領	学科課程所属オリエンテーション	130
	学科課程所属募集期間	
	臨時休業	
	後期定期試験	
	卒業判定会議	
	卒業式	

目要録学大経商小

目

I 授業科目履修方法

学 年 暦 (昭和60年度)

昭和60年度 開講科目

昭和60年	4月13日(土)	単位 数	配当 年次	担 当	入学式	備 考	
人 文 科 学 系	4月15日(月)	4	I	渡辺(拓)	2.3.4.年次開講		
	4月15日(月)~4月17日(水)			渡辺(拓)	新入生オリエンテーション		
	4月18日(木)	4	I	和田(宗)	1年次開講		
	5月9日(木)	4	I	栗生(沢)	履修届締切日	2クラス	
	7月7日(日)	4	I	村山	創立記念日	B2クラス	
	7月15日(月)~7月25日(木)			川	履修科目の取消期間		
	7月22日(月)~7月27日(土)			川	夏季集中講義		
	7月22日(月)~8月31日(土)			村	夏季休業	夏季集中	
	9月17日(火)	4	II	安田	臨時休業	短期大学部助教授	
	9月18日(水)~9月30日(月)			田	前期定期試験	2クラス 前期	
社 会 科 学 系	10月1日(火)	4	II・III	廣川	後期授業開始	入学生動員	
	11月9日(土)	4	I	田	研究指導所属オリエンテーション		
	11月11日(月)~11月30日(土)			田	研究指導募集選考期間		
	12月2日(月)	4	II	田	研究指導内定者発表		
	12月5日(木)~12月16日(月)			田	履修科目の取消期間		
	12月12日(木)~12月18日(水)			田	冬季集中講義	2クラス	
	12月12日(木)~61年1月16日(木)				冬季休業		
	昭和61年	1月31日(金)	4	II	考	卒業論文提出締切日	
		2月1日(土)	2	III		学科課程所属オリエンテーション	
	英 語 以 外 の 国 語		2月3日(月)~2月8日(土)			学科課程所属募集期間	
		2月13日(木)	4	II	臨時休業		
		2月14日(金)~2月28日(金)			後期定期試験		
		3月15日(土)	4	II	卒業判定会議		
		3月20日(木)	4	I	中原助教授	卒業式	

I 授業科目履修方法

1 昭和60年度 開講科目

区分	授業科目	単位数	配当年次	担当教官	備考	
一般 科学系	哲学	4	I	渡辺(祐)教授	(後期) A・B2クラス	
	倫理学	4	II	渡辺(祐)教授		
	心理学	4	I	和田(完)教授		
	歴史学	4	I	栗生沢助教授		
	日本文学	4	I	村山教授		
	外国文学	英文学	4	II	豊国教授	
		ドイツ文学	4	I	中川教授	
	社会科学系	社会科学概論	2	II	松村講師	{夏季集中 慶應義塾大学教授 本学短期大学部助教授 A・B2クラス Aクラス前期 北海道大学非常勤講師 北海道大学助教授
		社会学	4	II	安田講師	
		社会思想史	4	I	倉田教授	
教育学		4	II・III	廣川講師		
政治学		4	I	田口講師		
自然科学系	物理学	4	I	原田教授	{(前期)原田教授 (後期)山田家教授 斉藤教授 A・B2クラス	
	自然科学概論	4	II			
	化学	4	I			
	生物学	4	I	山田(家)教授		
外国語	英語	I	4	I	備考参照	
		II	4	II		
		III	2	III		
	英語	ドイツ語	I	4	I	備考参照
			II	4	II	
	以外の	フランス語	I	4	I	備考参照
			II	4	II	
		中国語	I	4	I	中原助教授
II	4	II				

語	外国語	スペイン語	{ I II	4 4	I II	山田(真)教授 助教授	
	語	ロシア語	{ I II	4 4	I II	松本(忠)教授	
保健体育科目		体育講義		2	II	{ A(前期)大竹講師 B(後期)講師	本学保健管理センター 所長・教授
		体育実技		2	I・II	杉山教授 藤江教授 田野助教授 中川講師	小樽商業高等学校教諭
基礎教育科目		経済学概論		4	I	{ (前期)船津講師 (後期)鶴沢助教授	
		商学概論		4	I	{ (前期)山下教授 (後期)篠崎教授	
		法学概論		4	I	{ (前期)島田助教授 (後期)丸山助教授	
		管理科学概論		4	I	{ (前期)樋口教授 (後期)沼田教授	
基礎教育科目		数学		4	I	{ (前期)白川教授 (後期)兼岩助教授	
		統計学		4	II	遠藤助教授	
		数理統計学		4	III	久次教授	
		経済統計学		4	III・IV	本間助教授	
専門教育科目	経済学	経済原論 I		4	II	鶴沢助教授	
		経済変動論		4	III	山本(賢)講師 (後期)	
		経済学史		4	III	栗田講師	
		経済原論 II		4	II・III	花田講師	本学短期大学部助教授
		計量経済学		4	III	遠藤助教授	
		経済史概論		4	II	井上教授	
		日本経済史		4	III	長谷川教授	
		経済政策		4	III	小野講師	{ (前期) 北海道大学助教授
農業経済学		4	III・IV	崎浦講師	酪農総合研究所所長		

専門教育科目	経済学科科目	社会政策		4	III	吉武教授	
		財政学		4	III・IV	早見教授	
		国際経済論		4	III	船津講師	
		貿易政策		4	III・IV	佐竹助教授	
		国際金融論		4	III・IV	松井講師	
		金融経済論		4	III・IV	今助教授	
		金融政策		4	III・IV	坪沼講師	
		流通組織論		4	II	片桐講師	本学短期大学部教授
		マーケティング		4	III	山下教授	
		国際マーケティング		4	III・IV	森田助教授	
専門教育科目	商業学科・商学	商業英語		4	III	北村講師	小樽女子短期大学長
		証券市場論		4	III・IV	石原教授	(前期)
		証券金融論		4	III・IV	青山講師	(後期)
		経営学原理		4	II	篠崎教授	
		企業形態論		4	III	小田助教授	
		経営管理論		4	II	鶴野助教授	
		労務管理論		4	III	林助教授	
		経営史		4	III	榎本助教授	(後期)
		簿記学		4	II	{ A松本助教授 B山本助教授	
		簿記演習		4	III・IV	山本助教授	
専門教育科目	商業学科・経営	簿記演習		4	III・IV	山本助教授	
		会計学		4	III	久野教授	
		監査論		2	III・IV	三沢講師	(夏季集中)成蹊大学教授
		原価計算		4	III	福島助教授	(前期)
		経営分析		4	III・IV	中助教授	
		憲法		4	II	結城助教授	
		行政法 I		4	III	秋山教授	
		行政法 II		4	III・IV	{ (前期)結城助教授 (後期)猪股講師	本学短期大学部助教授
		財産法 I		4	II	神田教授	
		財産法 II		4	III	松久講師	{ (前期) 本学短期大学部助教授
専門教育科目	商業学科・経営	民事訴訟法		4	III・IV	中島助教授	
		会社法		4	III	青竹教授	
		商取引法		4	III・IV	{ (前期)桑原講師 (後期)大塚講師	北海道大学教授
		经济法		4	III	和田健助教授	(後期)

専 門 教 育 科 学 目 的	法 学 コ ー ス 目 的	経済刑法	4	Ⅱ・Ⅲ	丸山助教授	(夏季集中) 青山学院大学教授 (前期) (夏季集中) 北海道大学教授		
		無体財産法	2	Ⅲ・Ⅳ	半田講師			
		労働法	4	Ⅲ	島田助教授			
		社会保障法	2	Ⅲ・Ⅳ	保原講師			
		環境法	4	Ⅲ・Ⅳ	飯塚助教授			
		国際法Ⅰ	4	Ⅱ	中村恵助教授			
		国際法Ⅱ	4	Ⅲ・Ⅳ	大谷教授			
		国際機構論	4	Ⅲ	大谷教授			
		国際経済法	4	Ⅲ・Ⅳ	清水助教授			
		国際取引法	4	Ⅲ・Ⅳ	桑原講師 (後期)			
科 学 目 的	管 理 科 学 目 的	管理科学通論	6	Ⅱ	浅利講師	東海大学助教授		
		管理科学Ⅰ	6	Ⅲ	若林助教授			
		管理科学Ⅱ	6	Ⅲ	樋口教授			
		管理科学Ⅲ	6	Ⅲ	(前期)戸島教授 (後期)沼田教授			
		機械化会計	6	Ⅲ	山田(一)教授			
		情報処理	6	Ⅲ・Ⅳ	杉本助教授			
		応用数学(代数)	6	Ⅱ	(前期)沼田教授 (後期)中村隆講師			
		応用数学(解析)	6	Ⅱ	中村隆講師			
		応用数学(統計Ⅰ)	6	Ⅲ	清水川助教授			
		応用数学特講Ⅰ	3	Ⅲ・Ⅳ	小林(正)講師	(前期)元北海道大学教授		
教 職 科 目	研 究 指 導	計算機論Ⅰ	6	Ⅱ	(前期)杉本助教授 (後期)若林助教授			
		計算機論Ⅱ	6	Ⅲ	戸島教授			
教 職 科 目	研 究 指 導	教育原理	4	Ⅱ・Ⅲ	上野講師	備考参照		
		教育心理学	4	Ⅱ・Ⅲ	湯浅講師		北海道薬科大学助教授	
		教育実習	2	Ⅲ・Ⅳ	吉武教授		吉武教授 久野教授 篠崎教授 清水助教授 樋口教授 上野講師 下村助教授	
					石井講師			元北海道大学教授
					石井講師			元北海道大学教授
教育史	4	Ⅱ・Ⅲ	上野講師					
職業指導	4	Ⅲ	石井講師	元北海道大学教授				

教 職 科 目	英文学史	4	Ⅰ・Ⅱ	永原教授	(夏季集中) 北海道大学名誉教授 札幌大学教授 (後期)
	英文学演習Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	君羅助教授	
	言語学概論	4	Ⅱ～Ⅳ	池上講師 下村助教授	
	英語学演習Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	武本教授	

備考

★英語Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ担当教官名

武本教授，永原教授，豊国教授

市川助教授，君羅助教授，下村助教授，高橋(英)助教授

マイケル・エドワード・カー外国人教師

〔非常勤講師〕

片山講師(北海道大学教授)，菊池講師(本学短期大学部教授)，高嶋講

師(本学短期大学部教授)，脇田講師(武蔵女子短期大学教授)

安藤講師(小樽女子短期大学助教授)，大島講師(本学短期大学部助教

授)，鈴木(良)講師(小樽女子短期大学助教授)，浪田講師(北海道大学

助教授)，西村講師(小樽女子短期大学助教授)

マッシュ・M・ハンレイ(北海道大学外国人教師)，パメラ・ガリアー

ニ(北海道大学外国人教師)

★ドイツ語担当教官名

中川教授

大塚助教授

〔非常勤講師〕

加納講師(北海道大学助教授)，高橋(吉)講師(北海道大学助教授)，筑

和講師(北海道大学助教授)

石橋講師(北海道大学助手)

ローレンツ・イエーガー(北海道大学外国人教師)

★フランス語

江口助教授，高橋(純)助教授

〔非常勤講師〕

梶野講師(北海道大学教授)

ブリュノ・デュボワ外国人講師(北海学園大学講師)

★研究指導担当教官名

〔経済学科〕

井上教授，長谷川教授，早見教授，久次教授，吉武教授

鶴沢助教授，遠藤助教授，今助教授，佐竹助教授

栗田講師，船津講師

〔商業学科・商学コース〕

石原教授，久野教授，斉藤教授，篠崎教授，山下教授，和田(完)教授

鶴野助教授，榎本助教授，小田助教授，中助教授，林助教授，福島助教授，松本(康)助教授，森田助教授，山本助教授

〔商業学科・経営法学コース〕

青竹教授，秋山教授，大谷教授，神田教授

飯塚助教授，島田助教授，清水助教授，中島助教授，中村(恵)助教授，結城助教授，和田(健)助教授

桑原講師

〔管理科学科〕

戸島教授，沼田教授，樋口教授，山田(一)教授

清水川助教授，杉本助教授，若林助教授

〔商業教員養成課程〕

永原教授

君羅助教授，下村助教授

2 履修方法

学生は4年間在学し，次の事項に示された単位を修得することによって卒業資格が与えられる。

- (1) 単位修得については，各入学年度および各自が所属している，または，所属しようとする学科・課程によって異なるので，十分注意すること。
- (2) 2-(I)は昭和60年度以降入学者，2-(II)は昭和54年度～昭和59年度入学者，2-(III)は昭和53年度入学者，2-(IV)は昭和51年度入学者が適用される。また，商業教員養成課程以外の学生で，教員免許取得を希望する者は，2-(V)を参照のこと。
- (3) 英語(I・II・III)は，1年次毎週4時間4単位，2年次毎週4時間4単位，3年次毎週2時間2単位，合計10単位が必修である。
- (4) 英語以外の外国語(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語)は，いずれか1か国語を選択必修とし，1年次，2年次とも毎週4時間4単位ずつ計8単位を履修しなければならない。
- (5) 保健体育科目の実技2単位については，1年次毎週2時間2単位の $\frac{2}{3}$ ，2年次前期または後期に毎週2時間2単位の $\frac{1}{3}$ ，計2単位，講義については，2年次前期または後期に毎週2時間2単位がそれぞれ必修である。
- (6) 英文学概論，英文学演習II，英語学概論，英語学演習II，および英会話・英作文は高等学校教諭英語2級普通免許状取得のための授業科目であるが，卒業所要単位に算入されない科目として履修できる。
- (7) 研究指導は，毎週3時間，3年次から2か年継続授業で12単位(卒業論文を含む)である。なお，履修方法は，入学年度によって，違いがあるので注意すること。

昭和53年度以前入学者にあつては，所属する学科・コース・課程の区分を問わず各自の志望する研究指導を自由に履修することができる。

昭和54年度以降入学者にあつては，原則として，所属する学科・コースの研究指導を履修するものとする。商業教員養成課程に所属する学生は，学科・コースの区分を問わず，各自の志望する研究指導を履修することができる。なお，昭和59年度実質3年次生からは，英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り，教科に関する専門科目(英語科)の研究指導を履修することができる。(詳細については第12表を参照のこと。)

★ 研究指導を履修しない学生（いわゆるノンゼミと称する学生）は研究指導分の12単位をそれぞれ所属する学科の専門教育科目の履修によって充足しなければならない。

また、商業教員養成課程に所属する学生にあつては、経済学科・商業学科(各コース)・管理科学科の専門教育科目によって充足しなければならない。

(8) 商業教員養成課程以外の学科に所属する学生で「高等学校2級普通免許状(商業・英語)」の取得を希望する者は、第17表(商業)、第18表(1)または(2)(英語)の単位をそれぞれ修得しなければならない。

また、「中学校教諭英語科1級」の免許状を希望する者は、第18表の(3)の単位を修得すること。ただし、管理科学科に所属する学生は「中学校教諭英語科1級」の免許状は取得できません。なお、これらの単位は卒業所要単位以外の単位である。

(9) 2年次から、いずれかの学科または課程に所属するが、1年次の終りまでに、卒業所要単位数に算入される1年次配当科目のうちから16単位以上を修得していない場合は、(ア)学科または課程に所属することができない。

(イ)2年次配当科目の履修はできない。(ウ)卒業が1年以上延期される。また、この単位数を在学期間3年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

なお、(9)については、昭和56年度入学生から適用される。

(10) 2年次終了までに、卒業所要単位数に算入される1・2年次配当科目のうちから55単位以上を修得していない場合は、(ア)3・4年次配当科目の履修は認められない。(イ)研究指導に所属できない。(ウ)卒業が1年以上延期される。また、この単位を在学期間4年を経過しても修得できない場合は除籍になる。(昭和55年度以前入学者については、この単位を在学期間6年を経過しても修得できない場合は除籍になる。)

この55単位の算入については下記のとおりなので、履修上注意すること。

記

科目	年度	昭和59年度生以前	昭和60年度生以降
一般教育科目		28単位まで算入	24単位まで算入
外国語科目		16単位 "	16単位 "
体育(実技・講義)		4単位 "	4単位 "
基礎教育科目		8単位 "	12単位 "
専門教育科目		2年次配当科目	2年次配当科目

ただし、専門教育科目については所属学科以外の科目について、28単位まで算入。また商業教員養成課程については専門科目の外に教職科目も算入する。

(11) 単位の互換制について

北海道大学経済学部で下記の授業科目を履修することが認められる。この場合の身分は北大の特別聴講学生となる。

(ア) 聴講出願対象者

学則に関する細則1. 科目履修細則第5条に規定する〔1,2年次配当科目55単位以上〕単位数を修得した60年4月現在の4年次生。

(イ) 聴講科目

聴講科目	単位	担当教官	開講時期
世界経済論	4	佐々木	後期
国民所得論	4	内田	前期
経済学特殊講義Ⅶ	2	吉野	後期
産業技術論	4	吉田	後期
経営学特殊講義Ⅷ	2	川原田	前期集中

①「世界経済論」,「国民所得論」,「経済学特殊講義Ⅶ」は本学の経済学科の専門科目,「産業技術論」,「経営学特殊講義Ⅷ」は、本学の商業学科商学コースの専門科目として扱い、卒業単位数に算入する。

②1科目につき、20名が限度。

(ウ) 聴講期間

聴講科目の開講時期で前期とあるのは、昭和60年4月～昭和60年9月、後期とあるのは昭和60年10月～昭和61年3月、前期集中とあるのは、昭和60年7月29日(月)～昭和60年8月2日(金)である。

(エ) 聴講料 不要。

(12) 教職関係科目について

次のとおり開講するので、履修計画においては注意のこと。

科 目 名	昭和60年度	昭和61年度
教 育 原 理	○	○
教 育 心 理 学	○	×
商 業 科 教 育 法	×	○
英 語 科 教 育 法	×	○
道 徳 教 育 の 研 究	×	○
教 育 史	○	○
職 業 指 導	○	○

○印 = 開講, ×印 = 非開講

科 目	年 度	昭和59年度生以前	昭和60年度生以降
一般教育科目		28単位まで算入	24単位まで算入
外国語科目		16単位 *	16単位 *
体育(実技・講義)		4単位 *	4単位 *
基礎教育科目		8単位 *	12単位 *
専門教育科目		2年次担当科目	2年次担当科目

2-(I) 昭和60年度以降入学者

イ 一般教育科目, 外国語科目, 保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第1表 経済学科・商業学科・管理科学科および商業教員養成課程

区 分	単位数	備 考
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	24 6科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか 1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	12	3科目以上
合 計	58	

(注) 1. 一般教育科目(人文科学系)のうち, 外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。
2. 基礎教育科目については, 経済学科にあつては経済学概論を, 商業学科(商学コース)にあつては商学概論を, 商業学科(経営法学コース)にあつては法学概論(日本国憲法2単位を含む)を, 管理科学科にあつては管理科学概論を, 商業教員養成課程にあつては法学概論(日本国憲法2単位を含む)を含め3科目以上履修するものとする。

商学コース科目		会計学, 原価計算論のうちいずれか1科目を含める。
商業学科 経営 法学コース科目	} 24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学, 経済原論I, 経済史概論, 経済政策, 国際経済論, 財産法I, 財産法II, 会社法, 商取引法, 国際経済法, 管理科学通論, 会計情報論のうちいずれか2科目を含める。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として商学コースの研究指導を履修するものとする。
2. 研究指導を履修しない者は, 商学コースの科目について, さらに12単位を履修しなければならない。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	法学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	(日本国憲法) 2単位を含む 管理科学概論 4
日本文学 4	政治学 4		数 学 4
英文学 4			
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	3科目12単位以上
6科目24単位以上			

□ 専門教育科目の履修方法

第2表 経済学科

区 分	単位数	内 容
経済学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目 経営法学コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに経営学原理, 会計学, 管理科学通論, 応用数学(代数), 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として経済学科の研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

第3表 商業学科・商学コース

区 分	単位数	内 容	
商業学科 商学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに流通組織論, 証券市場論, 経営学原理, 経営史, 経営管理論, 簿記学, 会計学, 原価計算論のうちいずれか4科目を含める。	
商業学科 経営 法学コース科目 経済学科科目 管理科学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済史概論, 経済政策, 国際経済論, 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法, 国際経済法, 管理科学通論, 会計情報論のうちいずれか2科目を含める。	
研究指導			12
計			76
卒業所要単位	134		
(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として商学コースの研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は, 商学コースの科目について, さらに12単位を履修しなければならない。			

第4表 商業学科・経営法学コース

区分	単位数	内容
商業学科 経営 法学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに、憲法、財産法Ⅰ、財産法Ⅱ、会社法、経済法、経済刑法、労働法、国際法Ⅰのうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに流通組織論、証券市場論、経営学原理、経営管理論、労務管理論、会計学、経済原論Ⅰ、経済史概論、経済政策、国際経済論のうち、いずれか2科目を含める。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として経営法学コースの研究指導を履修するものとする。
2. 研究指導を履修しない者は、経営法学コースの科目についてさらに12単位を履修しなければならない。

※ 昭和55年4月1日の学則変更により、40単位のなかに「経済刑法」を追加したものである。

第5表 管理科学科

区分	単位数	内容
管理科学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに管理科学通論、管理科学Ⅰ、管理科学Ⅱ、管理科学Ⅲ、会計情報論、応用数学(代数)、応用数学(解析)、情報処理Ⅰのうちいずれか4科目を含める。
経済学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学、経済原論Ⅰ、経営学原理、会計学、財産法Ⅰのうちいずれか1科目を含める。
商業学科 商学コース 科目		
経営法学 コース科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として管理科学科の研究指導を履修するものとする。
2. 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について、さらに12単位を履修しなければならない。

第6表 商業教員養成課程

区分	単位数	内容
専門教育科目 経済学科、商業 学科(商学コース、 経営法学コースを含む)、 管理科学科の全 科目。	44	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 44単位のなかに経済原論Ⅰ、統計学、流通組織論、証券市場論、経営学原理、経営管理論、簿記学、会計学、情報処理Ⅰ、経営情報論、財産法Ⅰ、会社法のうちいずれか6科目(24単位)以上を含める。
教職科目	20	教育原理、教育心理学、商業科教育法、教育史、教育実習、職業指導を必修とする。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 商業教員養成課程に所属する学生は、他の学科・コースの研究指導を履修することができる。
2. 商業教員養成課程に所属する学生で、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する専門科目(英語科)の研究指導を履修することができる。
3. 研究指導を履修しない者は、経済学科、商業学科、管理科学科の各科目から、さらに12単位を履修しなければならない。

2-(II) 昭和54年度～昭和59年度入学者

※授業科目の履修にあたっては、2-(VI)昭和59年度以前入学者の履修上の注意事項も参照すること。

イ 一般教育科目,外国語科目,保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第7表 経済学科・商業学科・管理科学科および商業教員養成課程

区分	単位数	備考
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	8	2科目以上 {商業教員養成課程にあつては法学概論(日本国憲法2単位を含む)}
合計	58	

(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち,外国文学の単位については,そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	法学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	(日本国憲法) 2単位を含む 管理科学概論 4
日本文学 4	政治学 4		数学 4
英文学 4			
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	2科目8単位以上
7科目28単位以上			

ロ 専門教育科目の履修方法

第8表 経済学科

区分	単位数	内容
経済学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに統計学, 経済原論I, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目 経営法学コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに経営学原理, 会計学, 管理科学通論, 応用数学(代数), 財産法I, 財産法II, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は,原則として経済学科の研究指導を履修するものとする。
2. 研究指導を履修しない者は,経済学科の科目について,さらに12単位を履修しなければならない。

第9表 商業学科・商学コース

区分	単位数	内容
商業学科 商学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに流通組織論, 証券市場論, 経営学原理, 経営史, 経営管理論, 簿記学, 会計学, 原価計算のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 経営 法学コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学, 経済原論I, 経済史概論, 経済政策, 国際経済論, 財産法I, 財産法II, 会社法, 商取引法, 国際経済法, 管理科学通論, 機械化会計のうちいずれか2科目を含める。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は,原則として商学コースの研究指導を履修するものとする。
2. 研究指導を履修しない者は,商学コースの科目について,さらに12単位を履修しなければならない。

第10表 商業学科・経営法学コース

区分	単位数	内容
商業学科 経営 法学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに、憲法、財産法Ⅰ、財産法Ⅱ、会社法、経済法、経済刑法、労働法、国際法のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商業コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに流通組織論、証券市場論、経営学原理、経営管理論、労務管理論、会計学、経済原論Ⅰ、経済史概論、経済政策、国際経済論のうち、いずれか2科目を含める。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として経営法学コースの研究指導を履修するものとする。
2. 研究指導を履修しない者は、経営法学コースの科目についてさらに12単位を履修しなければならない。

※ 昭和55年4月1日の学則変更により、40単位のなかに「経済刑法」を追加したものである。

第11表 管理科学科

区分	単位数	内容
管理科学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに管理科学通論、管理科学Ⅰ、管理科学Ⅱ、管理科学Ⅲ、機械会計、応用数学(代数)、応用数学(解析)、計算機論Ⅰのうちいずれか4科目を含める。
経済学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学、経済原論Ⅰ、経営学原理、会計学、財産法Ⅰのうちいずれか1科目を含める。
商業学科 商業コース科目		
経営法学コース科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として管理科学科の研究指導を履修するものとする。
2. 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について、さらに12単位を履修しなければならない。

第12表 商業教員養成課程

区分	単位数	内容
専門教育科目 経済学科、商業 学科(商学コース、 経営法学コースを含む)、 管理科学科の全 科目。	44	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 44単位のなかに経済原論Ⅰ、統計学、流通組織論、証券市場論、経営学原理、経営管理論、簿記学、会計学、計算機論Ⅰ、事務機械化、財産法Ⅰ、会社法のうちいずれか6科目(24単位)以上含める。
教職科目	20	教育原理、教育心理学、商業科教育法、教育史、教育実習、職業指導を必修とする。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 商業教員養成課程に所属する学生は、他の学科・コースの研究指導を履修することができる。
2. 商業教員養成課程に所属する学生で、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する専門科目(英語科)の研究指導を履修することができる。
3. 研究指導を履修しない者は、経済学科、商業学科、管理科学科の各科目から、さらに12単位を履修しなければならない。

2-(Ⅲ) 昭和53年度入学者

※ 授業科目の履修にあたっては、2-(Ⅵ)昭和59年度以前入学者の履修上の注意事項も参照すること。

イ 一般教育科目,外国語科目,保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第13表 経済学科

区分	単位数	内容
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	8	2科目以上
合計	58	
(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち, 外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。		

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	法学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	(日本国憲法) 管理科学概論 4
日本文学 4	政治学 4		数学 4
英文学 4			
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	2科目8単位以上
7科目28単位以上			

ロ 専門教育科目の履修方法

第14表 経済学科

区分	単位数	内容
経済学科科目	36	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 36単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうち, いずれか3科目を含める。
商業学科 商学コース科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに経営学原理, 会計学, 応用数学(代数), 応用数学(解析), 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
商業学科 経営 法学コース科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

2-(IV) 昭和51年度入学者

※ 授業科目の履修にあたっては、2-(VI)昭和59年度以前入学者の履修上の注意事項も参照すること。

イ 一般教育科目,外国語科目,保健体育科目および基礎教育科目の履修方

第15表 経済学科

区分	単位数	内容
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	8	2科目以上
合計	58	

(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち, 外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	管理科学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	数学 4
日本文学 4	政治学 4		
英文学 4	法学概論 4		
ドイツ文学 4	(日本国憲法) 2単位を含む		
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	2科目8単位以上
7科目28単位以上			

専門教育科目の履修方法

第16表 経済学科

区分	単位数	内容
経済学科科目	36	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 36単位のなかに統計学, 経済原論I, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうち, いずれか3科目を含める。
商業学科科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに経営学原理, 会計学, 応用数学(代数), 応用数学(解析), 財産法I, 財産法II, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
管理科学科目		
法学関係科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。

2-(V) 教員免許取得希望者の単位修得方法

第17表 商業教員免許取得希望者の単位修得方法

区分	単位数	必修科目	選択科目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する専門科目	16	教育原理, 教育心理学, 商業科教育法, 教育実習, 教育史	
教科に関する専門科目	4	職業指導	
	16		統計学, 経済原論I, 流通組織論, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 企業形態論, 簿記学, 会計学, 事務機械化, 計算機論I, 財産法I, 会社法 (4科目選択)
合計	40		
備考	この表は商業教員養成課程以外の学科に所属する学生に適用するもので, それぞれの学科の卒業所要単位のほかに上記の単位数を修得しなければならない。ただし, 基礎教育科目の法学概論及び教科に関する専門科目の選択科目については, それぞれの学科の卒業所要単位と併用できる。		

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
哲学 4 倫理学 4 心理学 4 歴史学 4 日本文学 4 英文学 4 ドイツ文学 4 フランス文学 4 中国文学 4 ロシア文学 4	社会科学概論 4 社会学 4 社会思想史 4 教育学 4 政治学 4 法学概論 4 (日本国憲法) (2単位を含む)	物理学 4 自然科学概論 4 化学 4 生物学 4	経済学概論 4 商学概論 4 管理科学概論 4 教育学 4
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	2科目8単位以上
7科目28単位以上			

第18表 英語科教員免許取得希望者の単位修得方法

(1) 高等学校教諭の場合 (昭和56年度以降入学生)

区分	単位数	必修科目	選択必修科目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する専門科目	17	教育史 4 教育心理学 4 教育原理 4 英語科教育法 3 教育実習 2	
教科に関する専門科目	32	英語学関係 8	☆英語学概論 4 ☆言語学概論 4 英語学演習I 4 英語学演習II 4
		英文学関係 8	☆英文学史 4 ☆英文学概論 4 英文学演習I 4 英文学演習II 4
	英会話・英作文 4	商業英語 4 研究指導 12	
合計	53		

備考

1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし, 商業教員養成課程の学生は, 教科に関する専門科目の単位数と, 教職に関する専門科目のうち英語科教育法を修得すればよい。
2. 選択必修科目のうち☆印は各領域から一科目必修。
3. 「商業英語」は「英会話・英作文」又は演習科目と読み替えることができる。
4. 「研究指導」は商業教員養成課程に所属する学生のみ履修できる。修得単位は英語学又は英文学の単位として換算する。
5. 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育実習」「教育史」は, 17表, 18表両方の場合に併用できる。

(2) 高等学校教諭の場合 (昭和55年度以前入学生)

区分	単位数	必修科目	選択科目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法2単位を含む)	
教科に関する専門科目	32	英文学史 4 英文学概論 4 言語学概論 4 英語学概論 4	商業英語 4 英文学演習Ⅰ 4 英文学演習Ⅱ 4 英語学演習Ⅰ 4 英語学演習Ⅱ 4 } 16単位
教職に関する専門科目	17	教育原理, 教育心理学, 英語科教育法, 教育実習, 教育史	
合計	53		
備考			
1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし, 商業教員養成課程の学生は, 教科に関する専門科目の単位数と, 教職に関する専門科目のうち英語科教育法を修得すればよい。			
2. 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育実習」「教育史」は, 17表, 18表両方の場合に併用できる。			

(3) 中学校教諭の場合

上記(1)(2)の「教職に関する専門科目」のほか, さらに「道德教育の研究」2単位を修得すれば, 管理科学科所属の学生を除いて中学校教諭英語科一級普通免許状をも取得できる。

一 (VI) 昭和59年度以前入学者の履修上の注意事項

- 次表の適用入学年度生において, B欄に掲げている授業科目を履修し, 単位を修得した場合は, A欄に掲げている授業科目の単位を修得したこととなります。
- 次表のA欄に掲げている授業科目の単位をすでに修得済の者は, B欄に掲げている授業科目を履修することはできません。

適用入学年度	A 欄	B 欄
	授業科目	授業科目
昭和52年度以前	法 学	法 学 概 論
	マーケティング	流 通 組 織 論
	販 売 管 理	マ ー ケ テ ィ ン グ
	生 産 管 理	経 営 管 理 論
	民 法 Ⅰ	財 産 法 Ⅰ
	民 法 Ⅱ	財 産 法 Ⅱ
	商 法 Ⅰ	会 社 法
	商 法 Ⅱ	商 取 引 法
	英 文 学 Ⅰ	英 文 学 史
	英 文 学 Ⅱ	英 文 学 概 論
昭和53年度以前	英 語 (上 級 Ⅱ)	英 文 学 演 習 Ⅰ
	英 語 (上 級 Ⅳ)	英 文 学 演 習 Ⅱ
	英 語 学 Ⅰ	言 語 学 概 論
	英 語 学 Ⅱ	英 語 学 概 論
	英 語 (上 級 Ⅰ)	英 語 学 演 習 Ⅰ
	英 語 (上 級 Ⅲ)	英 語 学 演 習 Ⅱ
	行 政 法	行 政 法 Ⅰ
	国 際 法	国 際 法 Ⅰ
	国 際 資 源 論	国 際 法 Ⅱ
	銀 行 論	金 融 政 策
昭和55年度以前	管 理 会 計	管 理 会 計 論
	原 価 計 算	原 価 計 算 論
	経 営 分 析	経 営 分 析 論
	外 国 語 特 殊 講 義	外 国 人 特 殊 講 義
	機 械 化 会 計	会 計 情 報 論
	事 務 機 械 化	経 営 情 報 論
	応 用 数 学 特 講 Ⅰ	応 用 数 学 特 講
	計 算 機 論 Ⅰ	情 報 処 理 Ⅰ
	情 報 処 理	情 報 処 理 Ⅱ
	計 算 機 論 Ⅱ	情 報 処 理 Ⅲ
昭和58年度以前		
昭和59年度以前		

3 科目試験の受験について

定期試験（前期，後期）およびこれに準ずる試験を受験する場合，次の注意事項を厳守して，不利益をうけることのないよう十分留意してください。

★受験に際しての注意事項

1. 指定された席に着席すること。（試験開始5分前には着席していること）
2. 身分証明書の携帯がなければ受験できない。（座席の右前方におくこと）
3. 試験時刻に遅れた者は原則として受験できない。ただし，20分以内の遅刻者は，事情により監督者の許可を受けて受験できる場合もある。
4. 試験開始20分以内は退場できない。
5. 試験終了前10分以後は退場できない。
6. 教科書，参考書，ノートなどの不要の所持品は鞆等に納め，これらむき出しのまま机の中に入れてはいけないこと。
7. 教科書，参考書，ノートなどの参照を許された試験においては，それらの貸借をしてはならない。受験生の間で，貸借のあった場合は，それを不正行為とみなす。
8. 試験において，私語，その他不正行為の疑惑を招くような行為のないよう特に留意すること。
9. 試験中の不正行為については，学則に照し厳重に処分されるから厳正な態度で受験すること。さらに，不正行為を行った者に対しては，その学期に履修した科目の総ての単位は認定しません。従って，在学期間が1年間延期することになります。
10. 配布された答案用紙は必ず提出し，これを持ち帰ってはならない。
11. その他試験場内において監督者の指示に従わない場合は退場させられる。

〔注〕定期試験に準ずる試験では席を指定しないこともあります。

II 教授要目

1 一般教育科目

哲 学 教授 渡 辺 祐 邦

ヨーロッパ哲学史の重要な著作を読みながら，単にある学説を教条的に暗記するのではなく，現代の状況の中で過去の思想的遺産をどう発展させたいかを考えます。今年度は弁証法的思考の原型というべきヘーゲルの著作をテキストとしますが，他に倫理学の時間にギリシア語文法を学んでいる学生は，希望によりアリストテレスの『形而上学』をテキストとすることもできます。以上のほかに，二年目以上のドイツ語またはフランス語既修者に対しては，文献研究を中心とするグループを設けますが，その具体的方法は最初の講義のときに説明します。

講義用テキスト：

ヘーゲル「小倫理学」上，下，松村一人訳，岩波文庫
アリストテレス『形而上学』上・下（岩波文庫）（希望者のみ）
（文献研究のテキストとアリストテレスの原文テキストは，のちほど本人に直接さしあげます。）

倫 理 学 教授 渡 辺 祐 邦

「共同存在」としての人間の存在論的構造に関するヨーロッパ倫理学の古典的著作を読みながら，現代における生と実存の意味について考察します。今年度は，昨年度にひきつづきアリストテレスの『政治学』をテキストとして取り上げますが，邦訳とともにギリシア語の原文を併用するので，ギリシア語文法に関する簡単な学習を当初に行います。

テキスト：

アリストテレス『政治学』，山本光雄訳，岩波文庫
田中美知太郎・松平千秋『ギリシア語入門』岩波全書
（アリストテレスの原文テキストは，ギリシア語の学習が充分行われた

と判定される人にものみ、のちほど直接さしあげます。)

心理学 教授 和田 完

歴史学 A・B 助教授 栗生沢 猛 夫

本年度はA・Bの二クラスに分れて授業を行う。

A. このクラスは講義形式をとる。本年度はロシア・東欧の国家と社会の歴史的發展をテーマとする。講義ではまず、歴史及び歴史学とは何かについて必要最小限のことをお話ししたあと、現代のロシア(ソ連)・東欧についての基本的な情報を提供し、その後、そのような国家と社会が歴史的に、どのように形成されてきたのかを、西欧諸国家の場合と比較しながら検討して行く。その際西欧と東欧の歴史的發展のコントラストがはっきりしてくるのは、中世末から近世末からのことであるから、講義ではとくに、中世から近世への移行期の考察の中心がおかれる。受講者は講義をよく聴くか、あるいは自ら自立的に学習するかでなければ、難しいことになる。定期試験以外にレポートの提出を求めるつもりである。

参考文献：鳥山成人『ロシア・東欧の国家と社会』 恒文社1985年。

B. このクラスはゼミナール形式で行う。用いるテキストは、R. Wittraman『人間が一人では生きられないこと、すなわち人間関係があってこそ、人間が Russia and Europe, London 1973 p. 180, ヨーロッパに対するロシアの人間たりうることを信じていたものはいない。』をめぐり、19世紀以来のロシアの知識人を悩ませてきた一大問題であったが、本書はこの古典的問題に対する歴史家の側からの一回答である。受講者にはロレンスの作品を積極的に読むことを望む。平易な英文で書かれている。このクラスの目的は、この本を全部読み、活発な議論を行うことにある。最後まで読み通すつもりのある人々の参加を期待する。クラスは最大限25名までとする。テキストはこちらで一括注文する。一冊1,500円程度になるものと考えられる。

日本文学 A・B 教授 村山 出

詳しいことは、最初の講義の時間に説明しますが、下に概略を記すようにAとBとでは、授業の性格が違いますので、よく考えて選択して下さい。履習を決定した後で、選択の変更は認められませんので、注意して下さい。

A. 小人数クラス。各自の学習研究の報告を中心に展開する、演習的な性格の授業です。今年度のテーマは「万葉集の作者研究」で、各自が任意に作者を選んで研究し、その中間報告をめぐって質疑をかさね、最終的には研究レポートをまとめていただきます。

なお、Aで単位を修得した場合、来年度実施予定の万葉演習旅行に参加することができます。

教科書はBに同じ。

B. 多人数クラス。講義による授業で、今年度は、「万葉集における歴史と文学」をテーマにします。

レポートあるいは試験などについては、その都度指示します。

教科書：A・Bとも同じ。特殊な編纂の教科書ですので、少し高価ですが、必ず購入しておいて下さい。

土橋 寛編『作者別 万葉集』(桜楓社)

参考書：必要に応じて紹介します。

英文学 教授 豊国 孝

英国の代表的作家D. H. ロレンスを取りあげる。ロレンスは彼の人生と作品において、人間関係を探究し続けたといえよう。彼ほど現代社会にあって、

この講義では、ロレンスの主要な小説を中心ににしてD. H. ロレンス論を試みたが、本書はこの古典的問題に対する歴史家の側からの一回答である。受講者にはロレンスの作品を積極的に読むことを望む。

平易な英文で書かれている。このクラスの目的は、この本を全部読み、活発な議論を行うことにある。最後まで読み通すつもりのある人々の参加を期待する。クラスは最大限25名までとする。テキストはこちらで一括注文する。一冊1,500円程度になるものと考えられる。

テキスト：西村孝次『ロレンスの世界』(中公新書)

D. H. Lawrence, *Sons and Lovers* (桐原書店)

ドイツ文学

教授 中川 勇 治

ドイツ文学における近代小説の成立と発展をテーマにして、いくつかの代表的な作品をヨーロッパ文学全体の歴史的な展開と関連させながら解説します。参考文献は、必要に応じて講義の中で指示します。聴講される諸君は、翻訳でもかまいませんが、作品を自ら読まれるよう要望します。

社会科学概論

(夏季集中) 非常勤講師 松村 高 夫

(慶應義塾大学教授)

社会学

非常勤講師 安田 尚

(小樽商科大学短期大学部助教授)

本年度の講義は、次の構成にもとづいて行う予定です。

第一部……マックス・ウェーバーの社会学

第二部……現代日本の労働者階級の状態

テキスト：(1)マックス・ウェーバー、梶山・大塚訳、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』(上),(下)、岩波文庫。
(2)その他は、講義中に指示する。

社会思想史A・B

教授 倉田 稔

A・B, の2クラスにわかれているが、どちらをとってもよい。一方は、大クラスで、講義を行なう。他方は、小クラスで、参加者の自由テーマによる研究発表の場とし、学術小論文を書いていただくのが任務で、問題について考えようとするわけである。話はどうしても抽象的になる。大クラスの講義内容は、はじめに、現代の問題の、昨年度の続きを行なう。それが終わった後、古い時代からはじめて、時間の許すかぎり近代へと向

う。現代の問題は、a. 第1次大戦, b. 独立社会民主主義, c. ヒトラーとナチズム, d. 第2次大戦とそれ以降, を予定している。最後に学術小論

を提出していただく。

教育学

非常勤講師 廣川 淑子

(北海道大学非常勤講師)

私たちの生活にとって、教育は身ぢかな存在ですが、しかし、人はなぜ教育を必要とし、また教育を可能にするのでしょうか。あらためて「教育とは何か」と考えると、さまざまな問題が浮かび上がってくることに気づかされます。講義では、過去の教育諸類型をふり返りつつ、教育上の諸問題について考えていこうと思います。

政治学

非常勤講師 田口 晃

(北海道大学助教授)

前半は政治学の基本的な考え方と基礎概念について説明し、後半は戦後日本の政治を中心に政治の実際を見ることとする。

教科書は用いず、参考文献を講義の中で適宜指示するが、聴講者は予め

篠原一・永井陽之助編「現代政治学入門」第2版、有斐閣、1984年。

を読んでおくと、講義の理解の助けになる。

物理学

教授 原田 稔

現代物理学の大きな基礎の一つである量子論についての初等的な解説をジョージ・ガモフ著「現代の物理学—量子論物語」(河出書房新社)にそって行う予定。

自然科学概論(前期)

教授 原田 稔

個別科学の発展史とか、完成品としての科学の紹介ではなしに、発展成長途上のものとしての科学について話をしたい。極言すると「答のない問題」について考えようとするわけである。話はどうしても抽象的になる。具体性を与える足場として物理学を用いる。教科書は使用しない。

自然科学概論(後期)

教授 山田家正

生物学の立場から自然科学における物の考え方, 研究方法, 研究成果の
会に与えた役割などについて具体的に話を進めたい。テキストは使用しない。

化学

教授 斎藤 要

化学は一つの教育体系をもった学問であるが, 一般教育の化学は, その
系を希釈したり, あるいは一部を拡大して学ぶことが多い。

本年度は化学の近代化過程において展開された原子, 分子, 化学反応な
に関する基本的法則を現代化学の立場から検討してみたい。

なお, テキストは使用しないが, 参考書は講義のなかで紹介する。

生物学 A・B

教授 山田家正

生物学はAとBの2クラスに分けて行うが, 内容が異なるので途中から
更できない。下記をよく読んでから履習届を出すこと。

生物学A: 講義中心の大人数クラス。講義の中心は地球上に誕生した生
が現在までに辿った道筋(系統・進化学的分野)と, その生命がいかに
境に適応して生活しているか(生態学的分野)の2点におかれる。従って,
題材は分子レベルから個体・集団まで多様である。

生物学B: テキスト輪読・討論などを通じて自主的に生物学を学ぶ少人数
クラス。具体的な内容については最初の講義時に決める。年2回のレポート
提出が求められる。

臨海実習: 9月上旬, ウニの受精と発生の観察を北海道大学臨海実験所(樽
市忍路町)で行う予定。A・Bとも原則として全員参加。但し再履習者
既に実習を終了しレポートも提出した者は参加する必要はないが事前にそ
旨申し出ること。臨海実習のガイダンスは夏休み前に行う。

大クラスの講義内容は, はじめに, 現代の問題の, 昨年度の続きを行な
それが終わった後, 古い時代からはじめて, 時間の許すかぎり近代へと

2 外国語科目

英語

要(A) 英語履修方法

- (1) 英語の授業は, 教室内における2時間の講義に対し, 教室外におけ
る1時間の学習を必要とするものとし, 毎週2時間通年30週の講義を
もって2単位とする。(学則第12条の2参照)
- (2) 英語(I・II・III)は1年次毎週4時間4単位, 2年次毎週4時間4
単位, 3年次毎週2時間2単位, 合計10単位が必修となる。(学則第
10条および第11条別表第1の(2)参照)
- (3) 昭和60年度の英語クラス配置および教科の種別は別表の通りである。
- (4) 別表のうち, Eではじまる3ケタの数字はクラス別をあらわす記号
である。3ケタ目の1, 2, 3は履修基準年次で, 2ケタ目は教科の種別
を示している。0は文学作品の講読。1は評論, 伝記, 語学書等の文
学作品以外の講読で, 2は会話作文等, 3は文法である。1ケタ目の
1, 2, 3……はクラス別を示す。
- (5) 基準年次に配当されているクラスの選択は自由である。しかし, 英
語Iは別表A群より2単位, B群より2単位, 合計4単位を選択履修
し, 英語IIは講読2単位と他クラスの講読か会話, 作文等のうちいづ
れか2単位合計4単位, 英語IIIは講読2単位を選択履修すること。
なお, 同一年次配当の同一教官担当のクラスを2つ履修することは
出来ない。
- (6) 履修する学生は教授要目をよく読み, 最初の授業に出席した上で自
主的にクラスを選択すること。
- (7) 履修登録の手続きは, 希望するクラス名をカードに書き込み, 学生
課教務係の窓口へ提出すること。詳細について別途指示する(学生課
の掲示に注意)。なお, 当然のことながら, 学生部長へ提出する「履修
届」には, この登録の結果を記入すること。

(B) 別表(昭和60年度英語クラス)

英語 I - A 群			英語 II			英語 III		
講 読 及 び 文 法	文学 作品	E 101 永原 E 102 豊国 E 103 君羅 E 104 市川 E 105 市川	講 学 作 品	文学 作品	E 201 永原 E 202 豊国 E 203 君羅 E 204 市川 E 205 脇田 E 206 安藤 E 207 安藤 E 208 片山 E 209 片山	講 学 作 品	文学 作品	E 301 永原 E 302 豊国 E 303 君羅 E 304 市川 E 305 西村 E 306 菊池
		評論・伝記・語学書等			E 111 武本 E 112 武本 E 113 下村 E 114 高橋英 E 115 (前期)大島 (後期)高嶋			評論・伝記・語学書等
英語 I - B 群								
講 読	文学・評論	E 106 脇田 E 107 西村 E 116 高橋英	会 話 ・ 作 文	会 話 ・ 作 文	E 221 Carr E 222 Carr E 223 Gagliani	会 話 ・ 作 文	会 話 ・ 作 文	E 221 Carr E 222 Carr E 223 Gagliani
		E 121 Carr E 122 Carr E 123 Carr E 124 Carr E 125 Gagliani E 126 Gagliani E 127 Hanley E 128 Hanley E 129 Hanley			E 221 Carr E 222 Carr E 223 Gagliani			E 221 Carr E 222 Carr E 223 Gagliani
文法 E 131 下村								

英語 I

(英語共通試験実施要領)

英語 I - A 群クラスの履修と単位認定について
英語 I は A 群から 1 クラス 2 単位, B 群から 1 クラス 2 単位, 合計 2 クラス 4 単位を選択履修すること。

英語 I - A 群クラスの履修者には課外テキストを指定し, 年 2 回共通試験を行う。

共通試験は前期及び後期の各定期試験期間中に行う。前期及び後期の共通試験は両方とも受験しなければならない。

英語 I - A 群の各クラスの単位は, クラスの成績と共通試験の成績とにより, クラス担当教官が認定する。

課外テキスト

小川芳男・上野伊栄太著『高等英文法』有精堂

ただし, 前期は前半 p. 175 までとし, 後期は p. 176 以降とする。

※昭和 54, 55, 56, 57, 58, 59 年度生のうち, 英語 I の単位未修得者の履修方法は昭和 60 年度生の履修方法に準ずる。昭和 59 年度以前の学生のうち, 英語 I の単位未修得者は, I - A 群のクラスにかえて E 131 を選択することができる。

A 群

E 101 教授 永原和夫

Jerome David Salinger: *The Catcher in the Rye* (Eichosha-Penguin. ¥ 1,700)

アメリカ 20 世紀後半を代表する長編小説。決して難解な英語でないので勇敢にトライしてもらいたい。どのような理由があっても 2/3 以上出席しない者は受験資格を失う。

E 102 教授 豊国孝

H. E. Bates: *The Wedding Party & Other Stories* (金星堂)

H. E. Bates: *Death in Spring* (北星堂 ¥ 380)

◦ E 103 助教授 君 羅 久

テキスト: M. Spark: *The Pawnbroker's Wife and Other Stories* (学書 550円)

British Short Stories of Today (成美堂) 850円

E 104 } 助教授 市 川 真理子
E 105 }

Paul Gallico: *Love of Seven Dolls* (弓書房)

必ず予習をして出席すること。2/3以上出席しない者は評価の対象としません。

E 111 } 教授 武 本 昌
E 112 }

(テキスト) *Ann Landers' Letters in The Asahi Evening News* (太陽社)

◦ E 113 助教授 下 村 五三

Textbook: Sheila Chevallier 著 *First Steps to Linguistics* を講読し、N. Chomsky によって提唱された変形生成文法の視点より書かれた言語学の入門書です。三修社 ¥880.

◦ E 114 助教授 高 橋 英

E. Seidensticker: *Japan to Me* (朝日出版社)

E. Seidensticker: *Japanese and I* (朝日出版社)

2/3以上の出席のない者な受験資格を失う。遅刻は欠席扱いとする。

◦ E 115 (前期) 非常勤講師 大 島 稔

(小樽商科大学短期大学部助教授)

教科書 Fromm, M.: *Characters and Characteristics* (成美堂)

テキストの内容は、旅行、庭の手入れ、食事、TVドラマ、結婚式、社飲酒における日・英・米の国民の行動を観察し、その文化と国民性の相違類似点を論じた比較文化論である。平易簡明な英語で書かれているので毎7~8ページ読み、段落毎の要約による大意把握と、それに続く語法・文

の質疑応答で細部を検討することで授業を進める。大意の把握と語法・文法の確認のため、最低2回のリーディングによる予習が必要である。

◦ E 115 (後期) 非常勤講師 高 嶋 稔
(小樽商科大学短期大学部教授)

テキスト

(1) I. Asimov: *Words from History* (弓書房)

(2) M. C. Mobs: *Polyglot Isles*

上記テキストの(1)は速読用、(2)は精読用である。この2冊を読んで、〔1〕英文の内容を正確に把握できる読解力を身につけること、〔2〕英文の要点を的確にまとめる能力をつけること、〔3〕今日のイギリスにおける言語生活の実態と、日常、最も多く使用される単語の語源を知ること、などがこのクラスの目的である。

このE 115のクラスでは「大学での英語は学生自身がみずから学ぶのであって、教師から何かを習うのではない」という考え方を採る。従って、教室では、学生諸君が授業に出席する前にテキストを精読して、内容についての疑問点や問題点をまとめ、それをみんなで議論しながら解答を得る、という演習方式になる。

時間が限られているので、クラスでは英語を日本語におきかえる、いわゆる逐語訳はしない。学生の自主的・積極的な勉強を前提として教室での学習をすすめる。

当然のことであるが、テキストを前もってきちんと読まないでクラスに出席することは無意味なので、退室してもらうことになる。

3 群

◦ E 106 非常勤講師 脇 田 勇
(武蔵女子短期大学教授)

Somerset Maugham: *Rain and Red* (大阪教育図書)

モームの代表的短篇小説を素材に正しい英文の読み方を指導する。十分な予習と英英辞典の使用を勧奨する。

◦ E 107

非常勤講師 西村 千

(小樽女子短期大学助教授)

スタインベックの文学批評を行う。1930年代の代表的な作家であるスタインベックの作品は多くの人々に親しまれている。しかしながら短編作家としてのスタインベックは、あまり知られていない。スタインベックは彼の短編においてさまざまな文学的実験を試みているので、それを批評、分析したいと思う。

テキスト未定。

◦ E 116

助教授 高橋 英

James Baldwin: *Notes of a Native Son* (鶴見書店)

James T. de Kay: *Martin Luther King, Jr.* (桐原書店)

2/3以上の出席のない者は受験資格を失う。遅刻は欠席扱いとする。

◦ E 121

◦ E 122

◦ E 123

◦ E 124

外国人教師 Michael Carr

Abbs & Freebairn: *Building Strategies* (1984 new edition, Longman) This course emphasizes functional communication in English. Both attendance and participation are required. More than three unexcused absences will result in failure.

◦ E 125

◦ E 126

非常勤講師 Pamela Gagliardi

(北海道大学外国人教師)

Notions in English by Leo Jones, Cambridge University Press

The aim of this course is to encourage students to communicate in English. Language will be practised in a variety of situations. We will also have many group activities and games and during the latter part of the course will use video.

Grades will be based on attendance (no more than 5 absences), class participation and the results of the mid-term and final exam

ation.

E 127

E 128

E 129

非常勤講師 Matthew M. Hanley

(北海道大学外国人教師)

TEXT: Abbs & Freebairn: *Building Strategies*, Longman

This course will develop your ability to speak and listen to English. You will practice speaking English in a variety of situations presented in the text and in materials which I will provide. All Students will complete a 12 week pronunciation course, prepare and perform a roleplay in English for every class, and give a speech. You will practice listening to English in class and in the language laboratory. Requirements are completion of all homework assignments, grades of 70% or more on all examinations including the mid-term and final, class participation, and attendance.

◦ E 131

助教授 下村 五三夫

Textbook: Robert J. Dixon 著 *Graded Exercises in English* を教材として使います。文法の苦手な学生を対象としています。この科目をパスした者は「英語共通試験」をパスしたことと同じ扱いを受けます。リージェンツ出版社。

英語 II

E 201

教授 永原 和夫

James Joyce: *Dubliners* (南雲堂 ¥780)

James Joyce: *Araby and Other Stories* (南雲堂 ¥560)

ジェイムズ・ジョイスの初期の短編小説を分析的に読む。最低2回の試験レポートの提出を義務づける。どのような理由があっても2/3以上出席しない者は受験資格を失う。

◦ E 202 教授 豊 国

H.E. Bates: *The Golden Oriole & Other Stories* (英宝社 ¥880)

D.H. Lawrence: *The Lovely Lady and Other Stories* (成美堂 ¥850)

◦ E 203 助教授 君 羅 久

テキスト: *Modern British Short Stories II.* (英宝社) 960円

Twentieth-Century British Authors, Vol. III (金星堂) 980円

◦ E 204 助教授 市 川 真理

David Garnett: *A Man in the Zoo* (南雲堂)

必ず予習をして出席すること。2/3以上出席しない者は評価の対象としない。

◦ E 205 非常勤講師 脇 田

(武蔵女子短期大学教授)

Somerset Maugham *Sanatorium and a Man from Glasgow* (南雲堂)

モームの短篇小説中の傑作「サナトリウム」その他一篇を素材として、モームの考える人間ドラマを觀賞しつつ英文の正しい読み方に習熟するよう導する。十分な予習を条件とする。

◦ E 206 非常勤講師 安 藤 栄

(小樽女子短期大学助教授)

English Short Stories by Women Writers (Asahi Press, ¥1,200)

このテキストには主にイギリスで作品を発表している5人の20世紀の女性作家の短編小説が収められている。すなわち “Kew Gardens” (Virginia Woolf), “Mr. and Mrs. Dove” (K. Mansfield), “Hand in Glove” (E. M. Forster), “You Should Have Seen the Mess” (M. Spark), “The Story of a Non-Marrying Man” (D. Lessing) である。

◦ E 207 非常勤講師 安 藤 栄

(小樽女子短期大学助教授)

A Day In The Dark by Elizabeth Bowen (朝日出版 ¥640)

このテキストには 'A Day in the Dark' の他 'Hand in Glove', 'Gone with the Wind', 'I Hear You Say So', 'The Dolt's Tale' がおさめられている。

E 208 非常勤講師 片 山 厚

(北海道大学教授)

用テキスト

B. Malamud: *Man in the Drawer* (英宝社)

著者は現代アメリカにおけるユダヤ系作家といわれる小説家のひとりであり、本書は1973年出版になる中編小説である。

E 209 非常勤講師 片 山 厚

(北海道大学教授)

用テキスト

W. Faulkner: *Moonlight & Other Stories* (篠崎書林)

著者は20世紀アメリカ文学における、とくに小説家として著名な作家であり、本書は比較的最近纏められた短編集からの抜粋である。

E 211 教授 武 本 昌 三

テキスト) Jim Knudsen: *What's News in the U. S. A. Today* 南雲堂

E 212 助教授 下 村 五三夫

Textbook: C. Wilson 著 *Voyage to a Beginning* を講読します。コリン・

ウィルソンは諸君も御存知のように「アウトサイダー」で一躍彗星のごとく文壇に登場した作家です。下村自身、高校時代は「アウトサイダー」ファンでありました。彼の若き日々の流転の生活を赤裸々に描いた本書を読みながら、あの本の魅力を再び探ってゆきたいと思っています。三修 ¥980.

E 213 } 助教授 高 橋 英 光
E 214 }

Sydney J. Harris: *Of the Social Animal* (南雲堂)

Sydney J. Harris: *Telling It Like It Is* (南雲堂)

アメリカ人コラムニスト Sydney Harris の評論を読む。2/3以上の出席しない者は受験資格を失う。遅刻は欠席扱いとする。

◦ E 215 非常勤講師 浪田 克之
 (北海道大学教授)
 A. Sillitoe: *The Long Piece-Autobiography* (桐原書店)
 上記テキストの講読を中心とする。

◦ E 216 非常勤講師 浪田 克之
 (北海道大学教授)
From Alistair Cooke's "Six Men" (英宝社)
 上記テキスト (チャップリンとバートランド・ラッセルの評伝) の講読
 中心とする。

◦ E 217 非常勤講師 鈴木 良
 (小樽女子短期大学助教授)
 S. E. Frost, Jr.: *The Nature of The Universe* (成美堂 ¥ 900)
 Lucy R. Garretson: *American Culture* (開文社 ¥ 800)

◦ E 221 } 外国人教師 Michael Carr
 ◦ E 222 }
 Abbs & Freebairn: *Developing Strategies* (Longman)
 This course emphasizes functional communication in English. Both
 attendance and participation are required. More than three unexcused
 absences will result in failure.

◦ E 223 非常勤講師 Pamela Gaglia
 (北海道大学外国人講師)
 The main aim of this course will be to improve your *commu-*
ication in English. I intend to concentrate both on linguistic (verb
 and para-linguistic (non-verbal) communication. Linguistic commu-
 cation includes spoken fluency and intonation and to practise the
 we will have many games and group activities. Para-linguistic
 communication includes body language and to help you understand
 the importance of British and American body-language, we will

use mime, drama and video (watching and making films).
 Attendance is mandatory and your grades will be based on class
 participation and the results of the midterm and end of term exa-
 minations.

英 語 III

◦ E 301 教授 永原 和夫
 Graham Greene: *The Power and the Glory* (Eichosha-Penguin ¥1,800)
 地上の権力と神の栄光という難問題を追求した名作。かなりのスピードで
 読むのでよく予習すること。どのような理由があっても2/3以上出席しない者
 は受験資格を失なう。

◦ E 302 教授 豊国 孝
 D. H. Lawrence: *The Mortal Coil and Other Stories* (Penguin Book .
 ¥ 690)
 イギリスの作家D. H. ロレンスの短篇小説を読む。

◦ E 303 助教授 君羅 久 則
 テキスト: *The Penguin Book of English Short Stories*. (Eichosha-
 Penguin Book). 英潮社

◦ E 304 助教授 市川 真理子
 Catson McCullers: *The Ballad of the Sad Café* (南雲堂)

必ず予習して出席すること。2/3以上出席しない者は評価の対象としません。
 ◦ E 305 非常勤講師 西村 千 稔
 (小樽女子短期大学助教授)
 第1次世界大戦後のアメリカの1920年代, 30年代には文学史上, 特筆すべ
 き作品が生まれてきた。社会的には20年代の繁栄と30年代の暗黒時代を背景
 としながら, それぞれの作家たちがどのような生き方をめざしていたかを,

作品を通して考察してみたいと思う。従って授業は「解釈」を重視した
となるので予習を十分にやって来る事が大切である。

出席を重視し、遅刻は認めません。

テキスト *The Long Peace Autobiography* (朝日書店)

江草久司著・「現代アメリカ名作選」(朝日出版社・1,200円)

◦ E 306 非常勤講師 菊池
(小樽商科大学短期大学部教授)

Alan Sillitoe: *The Fishig-boat Picture* (鶴見書店, ¥700)

Sillitoe は、第二次大戦後、新しい目でイギリス社会を見つめ直すこと
を目指した、いわゆる「怒れる若者」の一人。教室での学習活動を重視する
従って履修するためには、毎週の十分な下調べと、可能な限り欠席しない
とが絶対の必要条件となる。七回以上欠席した者の成績評価はしない。

◦ E 311 教授 武本昌

Speaking, Hearing, Reading, Writing a all-round な Practice を行う
テキストは、各自、自分で書いて作ってもらう予定。

◦ E 312 助教授 高橋英

John C. Condon: *Words, Words, Words*…… (成美堂)

言葉と人間の精神の働きとの関係を考える。3/5以上の出席のない者は受
資格を失う。遅刻は欠席扱いとする。

◦ E 313 外国人教師 Michael Carr

Newsweek (every week) Wallace Smith: *Speak Better English* (英宝社)

This is an advanced course in English conversation and compo
sition. Grades Will be determined from comprehension of weekly
readings in *Newsweek* magazine, participation in classroom discuss
ions, and written compositions. All compositions must be typewr
itten, not handwritten. More than three unexcused absences will
result in failure.

◦ E 314 (前期) 非常勤講師 大島トヲ稔
(小樽商科大学短期大学部助教授)

教科書 Hoijer, H.: *Language and Writing*. (北星堂)

テキストの内容は、言語学者であり、人類学者である著者のホイジャーが
人間と言語及び文学の関係を論じたもので、言語の起源、構造、系統と分類、
言語の変化、文字の発生と歴史などについて要領よくまとめられている。ア
メリカの代表的人類学テキストにも再三収録されている言語に関する入門的
概説書である。毎回5ページ程読み、語法・文法の検討はもちろん、熟考さ
れた論の展開と具体例の提示の仕方などに注意して評論文の書き方を身につ
けてもらいたい。

◦ E 314 (後期) 非常勤講師 高嶋稔
(小樽商科大学短期大学部教授)

(1) A.H. Marckwardt and R. Quirk: *A Common Language*. (研究社)

(2) E. Sapir, *Selected Writings of Edward Sapir*. (南雲堂)

上記テキストの(1)は速読用、(2)は精読用である。この2冊を読むことによ
って、「1」英文の内容を正確に把握できる読解力を身につけること、「2」
言語に関する基本的な考え方やアメリカ英語とイギリス英語の実態を知る
こと、などがこのクラスの目的である。

どのような考え方で授業をすすめるか、ということについては、この『教
授要目』の英語 E 115 (後期)のところを参照されたい。

ドイツ語 I・II

ドイツ語の授業は下記のクラス編成により行われる。

	ドイツ語 I	ドイツ語 II
火	I A イェーガー	II A イェーガー
	I B 中川	II B 中川
	I C 大塚	II C 大塚
	I D 石橋	II D 石橋
木	I E 大塚	II E 大塚
	I F 筑和	II F 筑和
	I G 加納	II G 加納
	I H 高橋(吉)	II H 高橋(吉)

1. クラス説明

- (1) I A・II Aは、ドイツ人講師による会話主導の授業。
- (2) I B・C・Dは講読、I E・F・G・Hは文法である。
- (3) ドイツ語IIは、II A以外すべて講読である。

2. 履修方法

- (1) ドイツ語I・IIともに、火曜日と木曜日の授業から必ず一科目ずつ修すること。
- (2) I A・II Aとも履修者数を教室の都合上40名迄とする。
- (3) ドイツ語I・IIともAクラス以外は名簿により下記の要領でクラス分けを行う。

火曜日	Aクラス	希望者
	Bクラス	学生番号 1～130番
	Cクラス	学生番号 131～260番
	Dクラス	学生番号 261～最終番
木曜日	Eクラス	学生番号 1～100番
	Fクラス	学生番号 101～200番
	Gクラス	学生番号 201～300番
	Hクラス	学生番号 301～最終番

なお、このクラス分けは全学年に共通する。

注意事項

- (1) 各クラスとも授業出席を重視する。各学期1/3以上欠席した者には、原則として各試験の受験資格を与えない。
- (2) ドイツ語Iのオリエンテーションを4月18日(木)9時30分より104番教室において行うので、ドイツ語I履修希望者は必ず出席すること。なお、ドイツ語IIのオリエンテーションは今年度は行わない。
- (3) 辞書・参考書の紹介は、オリエンテーションで行う。

ドイツ語 I

A 外国人講師 ローレンツ・イェーガー
(北海道大学外国人教師)

教科書: Lernziel Deutsch, Grundstufe I
Wolfgang Hieber 著, Max Hueber 社 1983年刊

(なおこの教科書には日本語のGlossar(用語解説)も出版されているので、必ず併せて購入すること。)

口頭と文字の双方からする総合的なコミュニケーション能力の涵養を目指す。当初からドイツ語の構造上の法則性を概観させるために、文法規則の習得にも大いに力を入れる。折に触れてドイツ事情をわかりやすく紹介する。

B 教授 中川 勇 治

教科書: 高辻知義, G. ツォーベル編『新ドイツ事情』, 朝日出版社, 1,300円

C 助教授 大塚 譲

教科書: 早川 日本人のためのドイツ語 (早川東三編, 郁文堂)

D 非常勤講師 石橋 道夫
(北海道大学助手)

教科書: Eine Reise in die Schweiz, 郁文堂, 1,100円

I E 助教授 大塚
教科書：信岡／ドイツのことば（文法篇）（信岡資生著，郁文堂）

I F 非常勤講師 筑和正
（北海道大学助教）
教科書「ドイツ基本文法」福田幸夫 第三書房
授業の詳細については第一回目の授業時間内で説明する。十分な予習をすること。

I G 非常勤講師 加納邦
（北海道大学助教）
使用テキスト「小ドイツ文法」，編者，田中宏幸，出版社「芸林書房」
大学生協で購入のこと。授業の方針：ドイツ語の文法は覚えなければならないことがたくさんありますので，特に最初は休まないようにしてください。出席も毎回とります。予習をし，練習問題もやってきて，授出るようにして下さい。試験は前期，後期，各1回行います。

I H 非常勤講師 高橋吉
（北海道大学助教）
諏訪 功「小ドイツ語読本」（第三書房）
1回1課の予定であります。きちんと予習してきましょう。文法修やさしい読物で文法訓練するつもりです。

ドイツ語 II

II A 外国人講師 ローレンツ・イエーガ
（北海道大学外国人教員）
教科書：Lernziel Deutsch, Grundstufe I
Wolfgang Hieber 著，Max Hueber 社，1983年刊。
（この教科書の日本語版の Glossar（用語解説）が出版さ

ので，必ず生協で購入すること。）昨年度に引き続き，この教科書の Reihe 8 以後を勉強してゆく。授業の主旨についてはドイツ語 I A の項を見よ。

B 教授 中川勇治
教科書：酒井滋編『シルヴァイツァー：生への畏敬』郁文堂，600円

C 助教授 大塚 譲
教科書：中級文法読読本，ドイツ知識（木藤冬樹，宮本絢子編注）
昨年度の教科書をまず終える。初回から授業を行なう。第14課を予習してくること。教科書のない者はコピーを用意し必ず予習して臨むこと。

D 非常勤講師 石橋道大
（北海道大学助手）
教科書：Lesen wir deutsche Zeitungen 田中宏幸編著，芸林書房

E 助教授 大塚 譲
教科書：Menschen um Müller (Ernst Klett Verlag)
昨年度自習用として購入済みであるはずの上記テキストを前期に終える予定。初回から授業を始める。6, 7, 8 9 課（巻末の練習問題を含む）を予習してくること。未購入の者は生協で求めること，間に合わない場合にはコピーを用意し必ず予習して臨むこと。

非常勤講師 筑和正格
（北海道大学助教）

教科書「高校生殺人事件」白水社
速読，多読を基本原則とするが，訳読だけに留らず，随時文法事項の復

習を織りまぜて授業を進行させる。十分に予習をすること。もちろんみだりに欠席してはならない。

II G

非常勤講師 加納 邦

(北海道大学助教)

使用テキスト：「伝説の主人公たち」 編者、菊池武弘、中村哲夫、出版社「三修社」、定価 750 円、大学生協で購入のこと。授業の方針
 イツの面白い伝説を読みながら、やさしいドイツ語に慣れていくよ
 します。テキストが面白いので、比較的楽しく予習ができると思
 必ず予習をして授業に出るようにして下さい。出席は毎回とります。
 験は前期、後期それぞれ 1 回行います。

II H

非常勤講師 高橋 吉

(北海道大学助教)

ヴェルフェル「マニのサンダル」(白水社)
 文法直後にふさわしいやさしい読物です。できるだけ全員があた
 うにしますので、きちんと予習してきましょう。この本終了後は、
 格的なものを取りあげることにします。

フランス語 I・II

フランス語の授業は下記のクラス編成によって行われる。

	フランス語 I		フランス語 II	
火	IA	梶 野	II A	梶 野
	IB	高 橋(純)	II B	江 口
	IC	江 口	II C	高 橋(純)
木	IA	高 橋(純)	II A	江 口
	IB	江 口	II B	高 橋(純)
	IC	デュボワ	II C	デュボワ

注 意

- 1) フランス語 II のクラス編成は前年度履修したフランス語 I のクラスに同
- じ。
- 2) C は会話を中心とした少人数編成(定員 25 名前後)のクラスで、自由選択
- 制であるが、授業内容はハードであるから、よく考えて選ぶこと。希望者
- 多数の場合には抽選等により決定する。
- 3) フランス語 I A・B は学生番号順にクラス分けを行う。所属クラスは追
- って指示する。
- 4) 再履修者は過去履修したものと同一のクラスに所属すること。
- 5) 1 年次生は、後日指定する日時に行うオリエンテーションに必ず出席す
- ること。

フランス語 I

A (火曜日) 非常勤講師 梶野吉郎
 (北海道大学教授)

用書：「初級フランス語読本」(改訂版) 工藤進・竹内信夫著
 (白水社) ¥ 1,100

A (木曜日) 助教授 高橋 純

用書：「フランス文法の見取り図」鈴木重生・照木健著(白水社) ¥ 1,100

I B (火曜日) 助教授 高橋

用書: 「フランス語入門—読本コース—」(改訂版) 朝倉季雄・加納晃
(駿河台出版社) ¥980

I B (木曜日) 助教授 江口

用書: 「新訂版『ヌーヴェル・エチュード』—文法編—」 戸板俊敬他
(行人社) ¥1,000

I C (火曜日) 助教授 江口

用書: 「フランス語・文法と練習」 野村二郎著 (白水社) ¥1,200

I C (木曜日) 外国人講師 Bruno Dubois

(北海学園大学講師)

L.L.: 視聴覚教材を用い簡単な会話・発音練習。教材テキストは《Sans frontières》です。言語表現は社会的行動様式と結びついたものであるから、学生諸君はフランス人の日常生活に関する著作を少なくとも1冊は読むように。なお、クラスでは活動的学生の参加により、楽しい実用的小会話、設定による会話構文訓練を行う。

宿題を出すので必ずやって来ること。

フランス語 II

II A (火曜日) 非常勤講師 梶野吉良

(北海道大学教授)

用書: 「肉体の悪魔」R. ラディゲ著/渡辺明正編 (朝日出版社) ¥780

II A (木曜日) 助教授 江口

用書: 「<コント集>四季の笑い」Mina et André Guillois 著/利光夫編 (三修社) ¥850

紅 B (火曜日) 助教授 江口 中 修

用書: 「海の沈黙」ヴェルコール著/松田稷編 (第三書房) ¥600

I B (木曜日) 助教授 高橋 純

用書: 「ナポレオンの生涯」アンドレ・ガルデラ著 (第三書房) ¥850

I C (火曜日) 助教授 高橋 純

用書: 「やさしい中級フランス語」丸山圭三郎著 (第三書房) ¥1,000

I C (木曜日) 外国人講師 Bruno Dubois

(北海学園大学講師)

L.L.: 教材は《Sans frontières》。原語の問題意識の自覚と敏感な感覚を養うために、学生諸君はフランス語の作用を理解し、生きた会話による言語表現のよりよい展開に努力すること。家庭学習においてはカセットの使用など、学生諸君はフランス人の日常生活に関する著作を少なくとも1冊は読むように。宿題を出すので必ずやって来るように。

- 1) 多田道太郎他編「クラウン仏和辞典」(三省堂)
- 2) 福井芳夫他編「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)
- 3) 鈴木信太郎他編「スタンダード仏和辞典」(大修館)
- 4) 井上源次郎他編「新仏和中辞典」(白水社)

中国語 I

助教授 中原 健

スペイン語 I

助教授 山田 真史

まず発音と基本的な文型の修得をめざす。発音はローマ字表記（拼音）によっているので、これをはじめに覚える。かなりむずかしいと覚悟し、くように。なお、日本で日常使用されている漢字の知識は初期の段階で立たず、かえって邪魔になる。同じ漢字を使っていることばだからと、易に思い込まないこと。

テキスト：中文研究会編「中文基礎」（三和書房）

辞書：「岩波中国語辞典」（岩波書店），または「現代中日辞典—増訂—」（光生館）など。別に全員に「新華字典」（北京商務印書館）を所持してもらおうが、受講者数を確認してから発注する。

中国語 II

助教授 中原 健

スペイン語 II

助教授 山田 真史

前期：「中国語基礎課本」の残りを仕上げる。その後、短いものをコヒで読む。今のところ相声（漫才のこと）の台本を読もうかと考えている。

後期：まとまった内容のものをひとつ読む予定。テキストは未定なので後でお知らせする。

<注>「新華字典」をまだ購入していない者は、最初の授業のときに出ること。

テキスト Doce lecciones de español, Tello J. Maroto 白水社

「基礎スペイン文法」吉田秀太郎 白水社

辞書 西和辞典 高橋正武編 白水社

文法、読解、会話の基本を学ぶ。

詳しいことは最初の授業で説明。必ず出席し、履修者のリストに記入して

くこと。再履修者も同様。なお欠席数が授業数の3分の1を越えると自動

に受験資格がなくなる。また他の外国語で単位をとれなかった学生がこのク

スに志望変更することはできない。

付記：主要な文法的テーマが終わるごとに小テストをする予定。

外国人講師 Bruno Dubois

Español en directo 1 B Sánchez, et al., Madrid:SGEL

Español en directo 2 B Sánchez, et al., Madrid:SGEL

必ず最初の授業に出席し、履修者のリストに記入していくこと。出席数な

については「1年」の時と同様。なおスペイン語 I の単位をとれなかった

生は履修できない。

II A (火曜日)

非常勤講師 梶野 吉

用書：「肉体の悪魔」R. ラディゲ著/渡辺明正編（朝日出版社）¥760

II A (木曜日)

助教授 江口

用書：「<コンド集>四季の笑い」Mina et André Guillois 著/利根夫編（三修社）¥850

ロシア語 I

教授 松本 忠

発音, 文法, 訳読, 作文の基礎的学習

教科書: はじめてのロシア語 ВВОДНЫЙ КУРС РУССКОГО ЯЗЫКА

桑野隆著 白水社

ほかに, 学習の進度に応じ, プリント刷りのテキストを配付予定。

辞書: 現在市販のものにはそれぞれ長短があるが, 次のうち一点はとも用意すること。ただし, 早急に購入する必要はない。初期)とする。

の前半ぐらいは辞書に頼るよりも, 単語帳を自分で丹念に作る方が, はるかに確実な学習効果を生むであろう。

八杉貞利編 岩波ロシア語辞典

木村彰一編 博友社ロシア語辞典

井桁貞敏編 コンサイス露和辞典(改訂版)三省堂

ロシア語の背景世界を知るために, 東郷正延編「ロシア・ソビエトドブック」(三省堂)をすすめる。歴史, 文学, 地誌, ことわざ, 文法の簡略辞典としても役立つ。

ロシア語 II

教授 松本 忠

文学作品(詩, 小説, 戯曲, 回想記)および社会科学関係論文の講読半の時間を当てることになるが, 文法のより深い学習, 作文練習も併せなうので, 専用のノートを用意すること。テキストはプリント刷りの予

保健体育科目

体育講義

非常勤講師 大竹 信三郎

(小樽商科大学保健管理センター所長・教授)

クラス編成

次のとおり, 受講者の学生番号によってA・B2クラスに分ける。2・

3・4年次生いずれも: 001~200はA(前期), 201以降はB(後

期)とする。

講義内容

健康の保持増進を保健と定義し, その医学的理解と実際的対応を講義する。

人の「病気」は医学の問題であるが, 人の「健康」は医学が関与する対象であると同時に, 医学からのみでは解き得ない多くの問題を含んでいる。

病気になることを防止し, あわせて, 健康な人に対しては, よりよく健康を増進する方策に就いて, 保健の公共的視点ならびに個人としての健康管理と体力づくりを論ずる。

更に, 社会・生活等の環境因子による影響や人体の生体反応のしくみなどを含めて, 人口動態の変化に伴う疾病構造の変遷なかでも心身症, 成人病, 免疫やアレルギー, 加齢現象等につき述べる。また, 栄養, 精神衛生の問題および成人保健や母子保健のための対策につき説明し, 保健活動の国際的動向にも言及する。

体育実技 I・II

教授 杉山

教授 藤江

助教授 田野有

非常勤講師 中川平

(小樽商業高等学校教)

I 体育実技の履修について

体育実技は必修科目であり、各自所定の時間に出席しなければなら
本学では1年目で毎週2時間(60時間)、2年目は前期・後期各2時間
時間)のうち、いずれかを選択履修することになっている。

体育実技実施種目は必須種目と選択種目とからなり、必須種目として
2年目とも体力診断テスト、トレーニング法の実践、水泳、スキー等を行
ただし、2年目では水泳かスキーのいずれか1種目をとらなければなら

また、選択種目としては下記Ⅲにあげた種目中より、1・2年目と
種目を選択履修し、1年目については後期で、2年目についてはこの
を前・後期のいずれかで選択履修するものとする。

II 必修実技種目とその内容

(1) 体力測定

体力診断テスト……反復横とび、垂直とび、背筋力、握力、伏臥
そらし、立位体前屈、踏み台昇降運動

以上の7種目で、測定実施時期は、第1回目は春季、第2回目が秋季
る。体力の優劣判定は、文部省体育局のテスト判定基準により、総合点
ってA・B・C・D・Eに区分されるが自己の体力の現状を把握して
ことが肝要である。

(2) トレーニング

トレーニング法とその実際について知っておくことは、学生生活
び社会生活を営むうえで体力の維持増進をはかる場合に極めて大切
とである。ここでは体力づくりのための一般的トレーニング法、器
材使用法、トレーニング処方等について実習し、授業時間外でも自
処方し、自発的に継続実施できるようにもってゆきたい。

(3) 水泳

自己安全管理の一環として、水からの事故防止のため水泳技術を修得
しておくことは極めて大切なことである。指導段階の区分として都合上、
4班に分け、各班ごとに下記の内容で実施する。技術修得の過程で班を移
動する者もある。実施期間等については、おって掲示等により通知する。

水泳実技内容>

区分	実技種目	テスト種目(泳法・距離泳)
初級 グループ	・立ち方、背浮き、立ちとび込 み、伏し浮き、簡易泳法、体 位変換	・背浮き・伏し浮きからの立ち …方泳法 ・簡易泳法で10m以上 ……距離泳
中級 A・B グループ	・クロール、平泳ぎ ・背泳ぎ、横泳ぎ ・逆とび込み、潜行、ターン	・泳法2種選択……泳法 ・1種目で25～50m……距離泳
上級 グループ	・クロール、平泳ぎ、逆とび 込み、背泳ぎ、バタフライ、 潜行、横泳ぎ、ターン	・泳法3種選択……泳法 ・1種目で50m以上……距離泳

(4) スキー

室内に閉じこもり勝ちな雪国の生活において、自然に親しみながらス
キー技術を習得することは、冬季体育の一環として、また将来の社会生
活をたのしく健康的なものとするためにも極めて有意義である。1・2
年を通して指導段階の区分として都合上、4班に分け、各班ごとに下記
の内容で実施する。実施時期等については、おって掲示等により通知する。

スキー実技内容>

区分	実技種目	テスト種目
初級 グループ	・歩行、滑走法、方向変換 ・転倒法、登行法、直滑降 ・プルーク・ボーゲン ・シュテム・ターン	・プルーク・ボーゲン ・シュテム・ターン
中級 A・B グループ	・プルーク・ボーゲン、横すべり ・斜滑降、シュテム・ターン ・パラレル・ターン	・シュテム・ターン ・パラレル・ターン
上級 グループ	・パラレル・ターン ・ウェーデルン、発展技術	・パラレル・ターン ・ウェーデルン

Ⅲ 選択実技種目とその内容

1年目後期…バスケットボール, 卓球, バドミントン

2年目前期…ソフトボール, 卓球, バドミントン

2年目後期…バスケットボール, 卓球, バドミントン

Ⅳ 必須実技種目理論

必須実技種目については, 各々講分の講義をする予定であるが, その内容, 日時に関してはおって通知する。

◆トレーニング基礎理論 (1年目)

助教授 田野 有

・トレーニング

今日では“トレーニング”とか“練習”とかいった言葉は実に曖昧, 無雑作に用いられ, 逆にいえば, それだけ便利な言葉であるといえないこともない。理論では, これらの言葉の意味するものからくりを, 体力づくりの必要要素を分析することからはじめ, 以下, スポーツと科学, トレーニングと科学, 年齢とトレーニング, 競技力と体力, 筋力・持久力のトレーニング・スピード・パワーのトレーニング…等の基礎知識を得ることによって, 「トレーニングの種類とその方法」を探ろうとするものである。

◆水泳基礎理論 (1年目)

教授 杉 山

- 1 現代と水泳
- 2 水泳の基礎的技術要因
- 3 競泳の技術的要因
- 4 基本泳法解説
- 5 水泳の安全管理

	目 録 対 実 行	分
1 現代と水泳		
2 水泳の基礎的技術要因		
3 競泳の技術的要因		
4 基本泳法解説		
5 水泳の安全管理		

◆スキー基礎理論 (1年目)

教授 藤 江 基 正

スキー概説

スキーの技術的的要因

スキー技術の組み立て

スキーの操作と身体の使い方

スキーの安全管理

1. 経済学とは何か (pp.1-35) (岩波)

2. 近代経済学への序論 (pp.36-100) (岩波)

3. 経済学と政治学 (pp.101-150) (岩波)

4. 経済学と倫理 (pp.151-200) (岩波)

5. 経済学と法律 (pp.201-250) (岩波)

6. 経済学と歴史 (pp.251-300) (岩波)

7. 経済学と文化 (pp.301-350) (岩波)

8. 経済学と社会 (pp.351-400) (岩波)

9. 経済学と未来 (pp.401-450) (岩波)

10. 経済学と人生 (pp.451-500) (岩波)

4 基礎教育科目

経済学概論 (前期) 講師 船津 秀

前期には、経済学という学問について理解を深めることを目的とし、経済学の系譜、古典の紹介、いわゆる価格理論における主要概念の解説、現代の経済学者の著作の紹介を行います。内容は次の通りです。

1. 経済学とは何だろう。(佐和, 杉本pp17-35)
2. 近代経済学—その系譜と方法論。(杉本pp39-103)
 - 2-1 新古典派経済学
 - 2-2 マルクス経済学
 - 2-3 オーストリア学派
 - 2-4 ローザンヌ学派
 - 2-5 計量経済学
3. 経済学の古典を読もう。(根岸)
 - 3-1 アダム・スミス 『諸国民の富』
 - 3-2 リカード 『経済学及び課税の原理』
 - 3-3 J.S. ミル 『経済学原理』
 - 3-4 A. マーシャル 『経済学原理』
4. 価格理論 (ミクロ経済学) の基礎について。
 - 4-1 消費者行動の理論
 - 4-2 企業行動の理論
 - 4-3 市場の部分均衡分析
 - 4-4 いくつかの応用問題
5. 我々の生きている経済社会
 - 5-1 ガルブレイス 『不確実性の時代』
 - 5-2 レスター・サロー 『ゼロ・サム社会』
 - 5-3 ミルトン・フリードマン 『選択の自由』
 - 5-4 エズラ・ボーゲル 『Japan as Number One』
6. 再び、経済学とは何だろう、または、経済学は現代に何をなしうる
テキスト

1. 佐和隆光『経済学とは何だろう』 岩波新書
2. 杉本栄一『近代経済学の解明』 岩波文庫
3. 根岸 隆『経済学のタイム・トンネル』 日本評論社

なお、価格理論のテキストについては、最初の講義の際に紹介します。

経済学概論 (後期) 助教授 鶴 沢 商 秀

マクロ経済学の基礎について講義する。経済学の基礎的知識や経済学的思考法に十分なじんでもらうには、テキストを良く読むことはもちろん、グラフ表示や式の展開、あるいは、数値例を自分自身で操作することが必要である。そうすることで、理解度がより深まるので、十分時間をかけて、勉強する必要があります。

テキスト：佐藤隆三『ニュー・マクロエコノミクス』(マグローヒル, 1982年)。

参考文献は、講義中に指示する。

講義の主な項目は、

マクロ経済学とは何か

国民所得勘定

総需要と均衡所得の決定

貨幣、利子および所得決定の理論

貨幣および財政政策

総供給、物価水準、失業、およびインフレーション

マネタリズム、合理的期待仮説およびサプライ・サイド・エコノミクス

経済成長の理論およびオープン・エコノミーの理論

商学概論 (前期) 教授 山下 隆 弘

下記テキストにもとづいて、講義します。テキストの主要目次は次の如くです。

第1章 商業システム論序説

第2章 商業システム論の基礎概念

—取引・取引者・取引動機—

第3章 商業システムの働き

第4章 小売市場競争の理論

第5章 卸売商部門サバシステム論

第6章 商業政策

テキスト：拙著「新しい商業学」同文館。

商学概論 (後期) 教授 篠崎 恒

商の発展が、一面において株式会社という制度を創出し、物を作る営
管理を必然化するという歴史過程を辿りながら、今日の商業経済の中で
営を説き進める。

- 1 商の発展と分化
- 2 資本の成立
- 3 企業形態の展開
- 4 株式会社
- 5 独占
- 6 管理の形成
- 7 科学的管理法

参考書

- 1 拙著「管理・組織批判」(仮題, 近刊予定) 同文館
- 2 馬場克三著「経営経済学」税務経理協会

法学概論 (前期) 助教授 島田 陽

(後期) 助教授 丸山 雅

法の意義, 法源, 法の解釈など法の基礎理論について, できる限り具
事例をとりあげて講義します。この講義は, とくに二年次より法律学を
する場合(経営法学コース)には, その入門の役割をもちます。また,
「社会科学に要求される論理的思考を学ぶこと」を学ぶことは, 社会
科学に要求される論理的思考を学ぶこと, 社会科学に要求される論
理的思考を学ぶことは, 社会科学に要求される論理的思考を学ぶこ
うで非常に適しており, 他分野を専攻する場合にも有益であります。
に, 法についての正しい理解は, 市民社会の成員としても不可欠な知識
るといえましょう。

この講義では, 下記のテキストを使用します。また, 法律学のテキ
六法全書とあわせて読むことが暗黙の前提となっています。この六法全
については, 最初の講義の際に紹介しますので, 各自で揃えるようにして
さい。

テキスト: 五十嵐清著『法学入門』(一粒社)

なお, 価格理論のテキストについては, 最初の講義の際に紹介しま

管理科学概論 (前期) 教授 樋口 透

(後期) 教授 沼田 久

この講義の目的の一つは, 学生諸君に管理科学についての正しいイメージ
形成してもらうことである。

(前期)

- OR (Operations Research) の歴史
- コンピュータとOR
- 意思決定過程
- システム・シミュレーション
- 日程計画

(後期)

- 順序問題, 経済性分析, 動的計画法, ゲームの理論, 線形計画法, 輸送問
題, 巡回セールスマン問題, 最適停止問題, グラフ理論などの講義を通じて,
管理科学の考え方を身につけてもらう。

教科書・参考文献: 必要に応じて指示する。

数学 (前期) 教授 白川 寛

(後期) 助教授 兼岩 龍二

S1, S2, S3

(1) クラス編成

所属は自由。しかし, 一つのクラスに集中すると授業がやりにくいから,
開始時の様子を見て, 各自調整して下さい。

(2) 教科書

S1, S2, S3 及び前期, 後期とも共通。

微分積分学の基礎 水本久夫著 培風館 1,600円

目次

1. 微分法
2. 初等関数の微分
3. 高階導関数
4. 平均値の定理
5. ティラーの定理
6. 偏微分法
7. 2変数合成関数の微分
8. 2変数のティラーの定理

9. 不定積分 10. 定積分 11. 広義の積分 12. 重積分
13. 微分方程式 14. 数列と級数

このテキストは、高校の「数学I」を予備知識として理解できるように
かかれている。

(3) 講義内容

S 1, S 2, S 3とも同一。

前期 目次の1~4.

後期 目次の5~8.

(4) 参考書

微分積分学演習 水本久夫著 培風館 980円

- 6 管理の形成
7 科学的管理法

参考書

法学概論 川白 野(後期(前期)助教授 学丸山 雅彦)

法学概論

川白 野(後期(前期)助教授 学丸山 雅彦)

注の意義、法源、法の解釈など法の基礎理論について、できる限り
事例をとりあげて講義します。この講義は、とくに二年次より法律学を
する場合(経営法学コース)には、その入門の役割を(経営学)に
的なもの「考え方」を学ぶことは、社会科学に要求される感
に、法についての正しい理解は、(経営学)に
るといえます。

この講義では、下記のテキスト(6冊)と、前編の講義(本編)の
六法全書とあわせて、(経営学)の講義(本編)の
については、最初の講義の際に紹介しますので、各自で備えるように
さい。

- テキスト 法興社(1) 法興社(2) 法興社(3) 法興社(4) 法興社(5) 法興社(6)

専門教育科目

統計学

助教授 遠藤 薫

講義内容

第1部 記述統計

第2部 推測統計

参考書

- (1) 森田優三『新統計概論』日本評論社
(2) 森田優三・久次智雄『演習統計概論』日本評論社

数理統計学

教授 久次智雄

2年次の「統計学」で扱った各種の手法の基礎となる数理を明かにし、
さらにその他の手法・考え方について講義する。

講義内容 確率変数(補論), 標本統計量の分布, 線形代数(補論), 多変数正
規分布, 回帰分析・分散分析の基礎, 推定・検定論の基礎, ベイズ的
推論など。

参考書

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版) 東洋経済新報社。

その他

- (1) プリントを用いる予定。
(2) 「統計学」「数学」および「応用数学(代数)」は履修済みであるとし
て講義を進める。
(3) 欠席・遅刻等をしていると単位修得が困難になるのでその点に留意し
てほしい。

経済統計学

助教授 本間正義

講義内容

1 経済統計学の課題と方法

2 経済変数と経済統計

- 1) 人口と労働力 2) 物価と指数

- 3) 賃金と労働市場
- 4) 家計と消費
- 5) 景気と投資
- 3 経済統計と経済分析
- 1) 国民経済計算
- 2) 産業連関分析
- 3) 地域分析
- 4) マクロデータの分析
- 4 経済統計の国際比較

教科書： 中村隆英・新家健精・美添泰人・豊田敬『経済統計入門』東
 大学出版会
 参考書： 高木秀玄・大屋祐雪・野村良樹編『経済統計学講義』有斐閣
 森田優三『経済統計読本』東洋経済新報社

経済原論 I 助教授 鶴 沢

(1)産業連関分析の基礎およびその応用例, (2)資源配分の理論, (3)経済成
 理論, に関して話す予定。

参考文献
 二階堂副包『数理経済学入門』(日本評論社, 1971年)
 金子敬生『産業連関の理論と適用』(日本評論社, 1977年)
 カーク＝サボスニック(田村・樺本訳)『一般均衡理論と厚生経済学』
 (東洋経済新報社, 1971年)
 マランヴォー(林訳)『ミクロ経済理論講義』(創文社, 1981年)

経済変動論 (後期) 講師 山 本 賢

目的及び概要： 中級レベルのマクロ経済学を主な分析用具とし、意義のより深い理解を助けること。2) 過去の理論のなかに、現代の経済
 経済変動の理解を目的とします。基礎的なマクロ学が提供しえない新しい視角を探ること。——に、それぞれ対応している。
 経済学から出発し、市場均衡、比較静学、財政・金 参考文献
 政策の役割、貨幣の役割が主要な課題となります(1) M. ブローグ, 久保・真実・杉原・宮崎訳『新版—経済理論の歴史』
 もし時間に余裕がある場合には、ミクロ経済学 4 冊 (I・II・以下未刊), 東洋経済新報社, 1982—84年。
 礎をおいた経済動学をも含める予定です。(2) 根岸隆, 『経済学の歴史』(スタンダード経済学シリーズ), 東洋経
 経済新報社, 1983年。

教科書： Dornbusch, R. and S. Fischer; *Macroeconomics*
 3rd ed. (NY: McGraw-Hill, 1983). (3) 水田洋, 『十人の経済学者』(エコノブックス 5), 日本評論社,
 1984年。

必要な経済学のレベル：「経済学概論」あるいはそれと同等程度の経済学
 假定します。

オフィス・アワー： 後期開講時に説明します。
 アサイメンツ： 随時、練習問題(Take-home)が与えられます。
 成績評価の基準： 3回の試験を予定しています。試験の予定は、後期
 開講時に説明します。成績は、試験結果(60%)と
 練習問題の結果(40%)で決まります。

参考文献： 後期開講時に、reading list を配布します。他の中
 級レベルのマクロ経済学の教科書として、下記の文
 献を挙げておきます。
 Branson, W. H.; *Macroeconomic Theory and Policy*,
 2nd ed. (NY: Harper & Row, 1979).
 Barro, R. J.; *Macroeconomics*. (NY: John Wiley &
 Sons, 1984).
 Hadjimichalakis, M. G.; *Modern Macroeconomics*.
 (NJ: Prentice-Hall, 1982).

経済学史 講師 栗田 啓子

本年度は、前半で、重商主義からJ. M.ケインズ(1883—1946)に至るまで
 経済学の知的な発展を概観する。後半は、アダム・スミス(1723—90),
 リカードウ(1772—1823), レオン・ワルラス(1834—1910)に焦点を
 当てて、それぞれの理論を生み出した問題意識や広い意味での社会・経済的
 条件およびそれらの理論が描くヴィジョンも検討することにしたい。この区
 分は、経済学史の二つの課題——1) 現代理論を歴史の流れに位置づけ、そ

2) 過去の理論のなかに、現代の経済
 学から出発し、市場均衡、比較静学、財政・金 参考文献
 政策の役割、貨幣の役割が主要な課題となります(1) M. ブローグ, 久保・真実・杉原・宮崎訳『新版—経済理論の歴史』
 もし時間に余裕がある場合には、ミクロ経済学 4 冊 (I・II・以下未刊), 東洋経済新報社, 1982—84年。
 礎をおいた経済動学をも含める予定です。(2) 根岸隆, 『経済学の歴史』(スタンダード経済学シリーズ), 東洋経
 経済新報社, 1983年。(3) 水田洋, 『十人の経済学者』(エコノブックス 5), 日本評論社,
 1984年。

経済原論Ⅱ

非常勤講師 花田 功

(小樽商科大学短期大学部助教)

マルクス『資本論』の内容を全般的に解説していきます。

I 序論

- 1 『資本論』の成立
- 2 マルクス経済学体系における『資本論』の位置
- 3 『資本論』の立場—史的唯物論(唯物史観)
- 4 『資本論』の基本内容と『資本論』を学ぶ意義
- 5 『資本論』の方法—上向法, 抽象

II 資本の生産過程

III 資本の流通過程

IV 資本主義的生産の総過程

V まとめ

- 1 『資本論』における価値論体系—独占価格論の基礎
- 2 『資本論』における貨幣流通論体系—現代インフレーションの基礎
- 3 『資本論』における恐慌論体系—スタグフレーション論の基礎

参考文献

松石・岡本編『経済原論講義』有斐閣

計量経済学

助教授 遠藤

講義内容

計量経済モデルの組み立てと未知パラメーターの推定を中心に講義します

参考書(年代順)

L.R. クライン『計量経済学入門』東京創元社

A.A. ウォルターズ『入門計量経済学(上),(下)』東洋経済新報社

辻村江太郎『計量経済学』岩波全書

経済史概論

教授 井上

比較経済史の観点からイギリス・フランス・ドイツおよびアメリカの山田盛太郎著『日本資本主義分析』岩波書店。楫西光速編『日本資本主義を素材として、経済史の基礎理論を論述します。講義内容はつぎのよう発展』全3冊, 東京大学出版会。大江志乃夫著『日本の産業革命』岩波書成になる予定です。

I はじめに

II 経済発展段階論

III 封建制論

IV 封建的危機論

V 市民革命論

VI 重商主義論

VII 産業革命論

テキストは使用せず, 小生の講義ノートを中心に論述します。参考文献はのつど指示しますが, さしあたり松田智雄編『西洋経済史』(青林書院新) および大塚久雄・高橋幸八郎・松田智雄編著『西洋経済史講座』I, II, IV (岩波書店) をあげておきます。

日本経済史

教授 長谷川 伸三

日本資本主義発達史(今年度は資本の本源的蓄積過程より国家独占資本主義の確立までを講義する予定)。

1. 本源的蓄積政策の展開
2. 産業革命と産業資本の確立
3. 国家資本と財閥の発展
4. 第一次世界大戦前後の経済構造の変化
5. 労働者・農民運動の発展
6. 昭和恐慌と中国侵略の開始
7. 国家独占資本主義の確立と戦時経済体制

前期ではレポート提出, 後期ではテストを行うほか, 適宜講義中にペイバや中間レポートの提出をもとめる。それぞれの課題を期日までに提出し, 格した者のみを評価するので, 出席はもとより, 自主的な学習を心がけて

しい。『財政学』(同文館, 1980年)。テキスト: 後藤靖・佐々木隆爾・藤井松一著『日本資本主義発達史』有斐, 1979年刊。

参考書: とりあえず講義全般にかかわるものをあげておく。

山田盛太郎著『日本資本主義分析』岩波書店。楫西光速編『日本資本主義を素材として、経済史の基礎理論を論述します。講義内容はつぎのよう発展』全3冊, 東京大学出版会。大江志乃夫著『日本の産業革命』岩波書。石井寛治著『日本経済史』東京大学出版会。石井寛治他編『近代日本経

済史を学ぶ』上・下，有斐閣選書。隅谷三喜男編『昭和恐慌』有斐閣選
中村隆英著『日本経済—その成長と構造』東京大学出版会。安藤良雄編
代日本経済史要覧』東京大学出版会。

経済政策 (前期) 非常勤講師 小野

(北海道大学助教)

経済学概論レベルのミクロ経済学の知識のあることが望ましい。講義
として厚生経済学や，マクロの経済政策にふれる予定である。参考文献
として，

熊谷 尚夫 『経済政策原理』 岩波

をあげておくが，講義の進行はかなり自由に行う予定である。尚，講義
修に関しては，数学の技術的知識は必要としないが，経済学の理解力を
することが望ましい。

農業経済学 非常勤講師 崎浦 誠

(北海道大学名誉教授・酪農総合研究所)

後掲のテキストにより講義を行なう。農業は純粋競争の条件を備えた
であるとされており，したがって農業経済学はミクロ経済学の適用にも
もふさわしい応用経済学の1分野である。講義は農業問題のミクロ経済
に重点をおくが，他方政策や制度の介入することの多い農業分野である
をも考慮して，政策，制度の解明にも注意を払う。

1. 農業経済学の領域・課題および方法
2. 経済成長と農業
3. 農業経営
4. 農業生産組織と地域農業
5. 食糧需給と市場メカニズム
6. 農業に対する公共政策
7. 農産物の国際貿易
8. 世界の食糧問題

テキスト

崎浦誠治・田辺良則共編著「農業経済学概論」養賢堂

参考書

秋野正勝ほか4氏共著「現代農業経済学」東大出版会
土屋圭造著「日本農業経済論」日本評論社

社会政策

教授 吉武清彦

1. 社会政策史
2. 社会政策と労働経済学
3. 社会政策各論

参考文献

大河内一男『社会政策』（総論・各論計2冊）有斐閣
隅谷三喜男『労働経済論』（筑摩書房）
隅谷三喜男『労働経済論』（日本評論社）
白井泰四郎『企業別組合』（中央公論社）

財政学

教授 早見 弘

昭和60年度の講義は，拙著『財政学』の問題を前進させて，1970年代以降
新しい展開を折り込んで進むつもりである。したがって受講者は上記のテ
キストを読んでいること，ならびに講義ノートの整理が必須条件となる。
講義の主要内容はつぎの通りである。

1. 政府の役割と財政規模
2. 公共財，準公共財，価値財の性質
3. 公共選択論—投票による決定，官僚・政治家の依存関係—
4. 政府収入の選択—租税と公債の比較—
5. 租税の規範理論—租税体系の選択と租税原則—
6. 租税の実証理論—課税の中立性と厚生損失—

参考文献

出 著『財政学』（同文館，1980年）
Boadway, Robin W. & Wildasin, David E., *Public Sector Economics*
Little, Brown, 2nd ed., 1984).

国際経済論

講師 船津 秀 樹

本講では，国済経済学の理論と応用について解説する。
比較優位の原理

2. エネルギーの国際経済学
3. 小麦の国際市場
4. 日本の貿易構造
5. 垂直貿易と南北問題
6. 国民所得と国際貿易
7. 生産要素の国際間移動
8. 国際経済学における貨幣理論とその応用
9. 外国為替市場の経済分析
10. 経済統合

参考書 小野浩著『国際経済学』 マグロウヒルブック

貿易政策

助教授 佐竹正

本年度は現在大きな（政治）経済問題になっている「経済摩擦」をとらえて、経済摩擦とは何か、それは何故起ってきたのか、将来どのようにするか等について考えてみたいと思います。

講義でははじめに、個々の商品をめぐる摩擦＝貿易摩擦をとりあげ、強い国際競争力を持つ鉄鋼や自動車の輸出が外国市場でひきおこして、摩擦と、日本の市場開放問題（農産物、通信機器、金融サービス）を論じます。次に、経常収支の不均衡や為替レートといったマクロ経済政策に関して起っている摩擦を検討します。

これらの複雑な問題を、整理して示すことが講義の第一の目的です。の目的は、摩擦の当事者（生産者、消費者、各国の政府当局）の主張やと、伝統的な国際経済学や貿易政策の理論から出てくる答とを比較し、することです。したがって、国際経済論ならびに国際金融論を履修してことが望ましく、また国際経済法も関連の深い科目になります。

国際金融論

講師 松井

1. 国際決済の仕組
2. 中央銀行の外国為替市場介入
3. 先物為替の理論
4. ユーロ・カレンシー・システム
5. 通貨同盟の理論

SDR問題

テキストは特に用いない。

参考文献

- 谷証, 大場誠一郎著『外国為替の知識』日本経済新聞社
 滝沢健三著『国際通貨の話』東洋経済新報社
 小宮隆太郎, 須田美矢子著『現代国際金融論（理論編）』日本経済新聞社

履修条件

国際金融メカニズムの理解に際しては、国内金融メカニズムに関するある程度の知識が前提となるので、受講者は横山昭雄著『現代の金融構造』（日経新聞社）を読んでおくこと。

金融経済論

助教授 今喜典

現代経済の金融的側面に注目し、この理解のために基本的な概念や分析用などをできるだけ体系的に講義する。応用経済学としての性格上、ミクロ経済学的な考え方は必須である。また後半ではマクロ経済学がテーマとなる。

しかし、これらの経済理論についての知識は受講の前提条件ではない。その必要な説明をおこなう。現在のわが国は、国債の累積、金融の自由化、金融の国際化などにみられるように金融構造の大きな変動の時期にある。講義では、わが国金融経済の制度や構造の検討にも十分な注意が払われる。

テキスト

岩田規久男・堀内昭義「金融」（スタンダード経済学シリーズ），東洋経済新報社，昭和58年，（1,700円）。

参考文献

1. 永谷敬三「金融論」，マグロウヒル好学社，昭和57年。
2. 小泉進「マクロ経済学」，有斐閣，昭和57年。
3. 貝塚・志村・蟬山編「金融・証券講座」，全5巻，東洋経済新報社，昭和56年。

金融政策

講師 坪沼秀昌

この講義は、マクロ分析によって、金融政策が雇用水準及び物価水準等に与える効果を明らかにすることを目的とし、以下のような項目について講義を行なう予定である。

1. 貨幣の機能と貨幣需要
2. 貨幣数量説
3. 古典派マクロモデル
4. ケインズ派マクロモデル— I S ・ L M分析—
5. 消費関数と投資関数
6. インフレーションの理論
7. 貨幣供給のメカニズム
8. 金融政策の目標・手段・効果

なお、特定のテキストは用いないが、参考文献としては次のものを挙
 おく。

ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学』マグロウヒル。
 工藤和久『金融理論』有斐閣。
 館龍一郎・浜田宏一『金融』岩波書店。

流通組織論

非常勤講師 片桐 誠

(小樽商科大学短期大学部教

商品流通の歴史的な流れを体系的にあとづけたうえで、資本制商品流
 特質を明らかにし、とくに現代の商品流通組織についてより詳細な考察
 う。

1. 交換ないし商品流通の歴史的展開
2. 資本制商品流通組織
3. 現代の流通組織

参考文献 森下二次也著「現代商業経済論」(有斐閣)

森下二次也監修 講座現代日本の流通経済1「現代資
 義の流通理論」(大月書店)

阿部真也著「現代流通経済論」(有斐閣)

マーケティング

教授 山下 隆

マネジャーリアル・マーケティングについての理論展開を試みる。今年
 講義内容として、次のテーマを考えている。

- 第1章 マーケティングの意義と消費者志向
- 第2章 マーケティング競争の構造

第3章 マーケティング・ミックス

- 細分化
- ライフ・サイクル

第4章 マーケティング・戦略

- 市場機会分析
- ポート・フォリオ分析

第5章 コミュニケーション

- 広告
- 販売員活動
- 販売員組織

第6章 マーケティング情報システム

第7章 マーケティング・システム・モデル

国際マーケティング

助教授 森田 憲

(講義内容)

国際経済社会をめぐる諸問題、とりわけ企業行動に関連する諸問題を考え
 ことにしたい。本年度の講義では、東西貿易、社会主義経済圏における貿
 直接投資等に焦点をあてる予定である。

参考文献は講義の中で適宜指示する。

商業英語

非常勤講師 北村 正 司

(小樽女子短期大学長)

外国貿易の流れを体系的に展開し、貿易実務と英語商業通信文を統一的に
 述し、実務に関する基礎的な知識の修得と商業英語の読解力および表現力
 養成をはかりたい。

1. 英語商業通信文の構成と形式
2. 取引関係の樹立
3. 売買契約の成立
4. 売買契約の履行
5. 電報とテレックス

また商業英語の活用に必要な英文法の知識と感覚を養いたい。
 キスト：鳥谷剛三「国際貿易英語」一改訂版 成美堂

1. 貨幣の (問題を補充する)

3. 証券市場論 (前期) 教授 石原定

証券市場論は古くして新しい学問分野である。戦前からあった証券市場は、商業学の一分科である取引所論として商品・証券の両取引所を含め系づけられていた。なぜなら財閥はそのグループ内で封鎖的に資金の調達していたので、公開された証券市場では企業の資金調達という機能よりむしろ投機取引という商品売買に共通した面だけが利用されていたからである。戦後になると、財閥企業も長年の蓄積を失って再出発が必要となったと財閥的な持株結合が解体されたために、株式市場ははからずも初めての資金調達という本来の機能を果たさねばならぬこととなった。それと共に証券市場論も取引所のなかだけではなく、一方では企業の資金調達面では金融市場との広い関連のなかで取扱れねばならなくなってきた。ここでは、国債の大量発行にともない金融・証券市場は新たな様相を呈している。

- 序. 有価証券とは何か
- I. 株式会社の本質と機構——資金調達側面と支配側面——
- II. 証券の流通——短期資金を長期資金につなぎあわせる時間的な集
- III. 証券価格の成立——擬制資本の成立・価格変動にともなう投機取引
- IV. 金融市場との交流——金融資産の累積・ポートフォリオ・セレクト
- V. 証券業の発展過程——証券と銀行の垣根論争——

参考文献は講義中に紹介する。

証券金融論 (後期) 講師 青山和

アメリカの証券市場において、証券金融は主としてブローカーズ・ローヤリティという方式によって行なわれているが、この方式は戦後のわが国において信用取引制度として導入されている。そこで本講義では、こうしたわが証券市場の範ともいえるアメリカの証券市場を考察の中心に置き、証券市場の動向と証券金融との関連を歴史的・理論的に分析して行く。

講義の主要なポイントは、次のとおりである。
第1に、証券市場における証券金融の機能と形態を明らかにする。

第2に、証券金融を、証券市場と金融市場とを接続する信用形態として位置づけ、信用制度におけるその理論的序次を明らかにする。

第3に、1920年代の株式市場ブームとその崩壊現象を取り上げ、そこにおける証券金融がどのような役割を果たしていたか明らかにする。

第4に、現状分析として、近年の政府機関等の報告書(パットマン委員会報告、SEC機関投資家調査、メトカーフ委員会等)の内容紹介を行ない、アメリカ証券市場の問題点(市場の機関化現象、支配等)を検討し、それと証券金融との関連を考えてゆく。

講義は、テキストを使用せず、講義ノートによって行なう。なお、本講義を受講者は、「証券市場論」を履修しておくことが望ましい。

参考文献>

- ボーゲン・クルース共著、日本証券経済研究所訳「アメリカの証券金融」日本証券経済研究所『証券金融』第3巻、1962年。
- F. マハルプ著、永田永寿訳『株式市場、信用および資本形成』千倉書房、1974年。

経営学原理 教授 篠崎恒夫

本科目は、経営学とは言うものの、いかにすれば経営を上手くすることができるかというハウトゥーを学ぶのではなく、あくまでも現実に存在する企業経営を客観的批判的に学ぶという立場に立つ。

今日の企業経営が直面する問題は多岐であるが、それらの複雑な現象をいかに理論的に整序しうるかが我々の課題である。たとえば、全ての企業における経営者が、十分な内外の情報を掌握し、万全なる経営政策の下に経営すべし、社会経済における不均衡は起らないかということは、経営と市場経済とを結ぶ根本問題である。また、いかに従業員を動機づけて管理の能率を高めるかという管理の課題が、いかなる意味で起ってきているのかも、歴史や制度に関して考察しなければならない問題である。

- 1. 経営学の認識課題
- 2. 経営学の基礎概念——管理の必然性、組織と官僚制、市場危険と計画経済
- 3. 経営学の生成と発展
- 4. 経営管理の展開

- 5. 企業形態
- 6. 経営者論
- 7. 人間関係論
- 8. 経営組織論

参考書

拙著『管理組織批判』同文館（出版予定）

馬場克三『経営経済学』税務経理協会

内田義彦『資本論の世界』，清水正徳『働くことの意味』岩波書店

関連科目

以下の諸科目を既に履修しているか、又は同時履修することが望ましい
哲学、心理学、歴史学、社会科学概論、社会学、社会思想史、商学概論
経済原論Ⅱ、経営管理論、流通組織論。

成績評価

- (1) 成績は二つのコースの選択により行う。1つはペーパーテストコースあり、他はレポートコースである。
- (2) 講義ノートの提出をもって評点の不足を補うことが出来る。
- (3) 提出ノートには、質問、講義に関するコメントを記載することを要する。有意義な質問、コメントには1～5点の評点を与える。
- (4) 上記についての詳細は講義頭初に説明する。

企業形態論

助教授 小田 福

講義内容

序. 企業形態論の概観

- 1. 個人企業，合名会社，合資会社
- 2. 株式会社
- 3. 企業結合諸形態，多国籍企業
- 4. 資本主義公企業，協同組合企業
- 5. 社会主義企業

なお、特に株式会社および社会主義企業について重点的に講義する。

テキスト：大島国雄『企業形態論』，同文館，1976年

拙著『ソビエト独立採算制理論の展開』，千倉書房，1982年
参考文献：その都度指示します。

経営管理論

助教授 鵜野好文

古典的企業論から最近の行動科学の成果をとり入れた近代的な企業理論を紹介する。講義の内容は以下のとおりである。

序章 企業研究の2つのアプローチ：経済学的アプローチと組織論的アプローチ

第Ⅰ部 古典的企業理論

第一章 生産と費用

第二章 市場構造と企業行動

第Ⅱ部 近代的企業理論

第三章 企業の行動理論

第四章 企業の行動モデル

補章 意思決定論

参考文献等はその都度指示する。

労務管理論

助教授 林 伸二

労務管理上の諸問題を最新の理論に基づいて説明・解明していきたい。

講義内容

労務管理論の目的とアウトライン

労務管理の基礎

2.1 個人とは何か

2.2 集団とは何か

2.3 個人—集団—組織の関係

労務管理論

3.1 リーダーシップ

3.2 タスクの構造化（仕事の専門化）

3.3 スタッフィング（人員配置）

3.4 業績評価

3.5 教育・訓練・開発

3.6 報酬

3.7 労使関係

3.8 組織開発

なお、講義の折に実際の会社のデータを多用する。

テキスト：拙著『仕事の価値—新しいモチベーション研究—』
昭和60年

参考文献：問題の性質によって異なるが、著書・雑誌論文を多用する。

経営史

(後期) 助教授 榎本

企業経営の歴史的展開に関わる主要なトピックスをとりあげて考察し、と考えています。

教科書の指定はありません。参考文献等については講義中に指示し、前もって読んでおくことが望ましい。

簿記学 A

助教授 松本 康

(1) クラス編成

受講生を次のとおり学生番号によってA・B2クラスに分けます。
：2・3・4年生いずれも、001~200はA, 201以降はB。

(2) 講義内容

授業は、簿記の基本を習得し、あわせて、会計関係諸科目の基礎をすることを目的としてすすめます。したがって、授業の程度は初歩的な入門とは限りません。講義内容は、概略次のとおりです。

1. 複式簿記システムの基本原理
2. 企業複式簿記の記帳手続一巡
3. 帳簿組織の基本
4. 特殊販売の記帳手続

(3) テキスト

沼田嘉穂『簿記教科書(再訂版)』(同文館) および『簿記教科書
記帳練習帳』

(4) 注意

会計関係科目の履修には、その前提として「簿記」の知識を有し

ることが必要です。本講義の履修上の注意ならびに参考書については、最初の授業で詳しく述べますので、必ず出席すること。

簿記学 B

助教授 山本 真樹夫

クラス編成

受講者を学生番号によってA・B2クラスに分ける。2・3・4年生いずれも：001~200はA, 201以降はB。

講義内容

簿記とは、常識的に考えるならば、単に記帳技術であると考えられるかもしれない。しかし、企業の複雑な営業活動、投資活動、財務活動を記述し、括するためには常識的な記帳技術で満足させることは到底できない。そのため、一定の理論的基礎にもとづいた記帳技術である複式簿記が要請されるのである。

したがって、複式簿記を学ぶためには、その基本原理を十分に理解しなければならない。同時に、その基本原理にしたがった記帳技術の修得も要請される。そのため、講義のほか、記帳練習も行ってもらい、その成果を数回出してもらう予定である。

評価：定期試験の成績および記帳練習帳の評点を総合して評価する。

教科書：沼田嘉穂著『簿記教科書』および同『記帳練習帳』(同文館)

参考書：片野一郎『新簿記精説(上)』(同文館)

安平昭二『簿記要論』(同文館)

井上清『簿記概論』(有斐閣)

簿記演習

助教授 山本 真樹夫

簿記と会計学とは別個の学問領域であると考えられる傾向がある。しかし、計理論は簿記によって具体化され、簿記は会計理論を基礎に機能するとい関係にある。本講義では、このような考え方にもとづいて、簿記の諸問題、会計理論との関係から考察してゆく。講義内容の大区分は下記のとおりである。なお、数回、小テストを行う予定である。

1. 商品勘定の処理(会計職能との関係から)

2. 商品特殊販売の処理(期間損益計算の原理との関係から)

3. 固定資産会計(費用配分の問題との関係から)

4. 引当金会計（発生主義の問題との関係から）

5. 資金会計（会計の計算構造の本質との関係から）

受講者：簿記学および会計学を履修済ないし履修中の者。

評価：安平昭二著『簿記詳論（改訂版）』（同文館）

参考書：片野一郎著『簿記精説（上）・（下）』（同文館）

飯野利夫『財務会計論（改訂版）』（同文館）

会 計 学

教授 久野 光

最初の授業でガイダンスを行い、参考書の紹介などもいたしますが、内容を大別すれば次のとおりです。

§ 1 総論

§ 2 測定論

収 益, 費 用, 資 産, 負 債, 資 本

§ 3 伝達論

§ 4 各論

テキスト：

太田・飯野, 『会計学』（千倉書房, 1983）

参考書—現在入手可能な標準的参考書：

黒沢 清, 『近代会計学』（春秋社）

山下勝治, 『会計学一般理論』（千倉書房）

飯野利夫, 『財務会計論』（同文館）

青柳文司, 『会計学の原理』（中央経済社）

黒沢 清(主編), 『体系近代会計学』（中央経済社）

神戸大学会計学研究室編, 『会計学辞典』（同文館）

監 査 論 (夏季集中) 非常勤講師 三 澤

(成蹊大学教

本講は、主として公認会計士（又は監査法人）が実施する財務諸表監査について、その基礎的諸概念および諸問題を解説しようとするものです。

諸表監査は、商法特例法の適用会社（資本金5億円以上もしくは負債総額100億円以上の株式会社）および証券取引法の適用会社（上場会社等）については法定監査として実施されておりますので、これらの監査制度につい

単に触れる予定です。

テキストおよび講義項目は、次の通りです。

テキスト：三澤 一著「クイックマスター 監査」（東洋経済新報社）

講義項目

- 1 監査は、なぜ必要か
- 2 法律が求めている監査とは何か
- 3 公正妥当な監査基準とは何か
- 4 監査業務管理は、なぜ必要か
- 5 内部統制とは、どのようなものか
- 6 監査計画は、どうたてるか
- 7 監査ではサンプリングをどのように行なうか
- 8 監査証拠は、どのようにして入手するか
- 9 監査を実施するうえで要点は何か
- 10 監査報告書に何を書くか

原 価 計 算

(前期) 助教授 福 島 吉 春

テキスト

溝口一雄『最新原価計算講義』（中央経済社, 1979）——同書は資格試験のための自習書として版を重ねてきた著書の教科書版であり、簡明な叙述を特徴としている。

講義内容

- (1) 総説（原価計算の基礎概念）
- (2) 実際原価計算
- (3) 標準原価計算
- (4) 直接原価計算

授業では計算技術だけでなく、その基盤になっている管理思考や歴史的発展過程をも理解してもらおう。なお、今年度は説明の順序をテキストとは変えようと考えており、それを含めて、最初の授業で講義内容および参考文献の解説をおこなう。

参考文献

- (1) テキストを理解するための基礎文献——①岡本清編著『管理会計の基礎知識』, ②津曲・宮本編著『原価計算の基礎知識』（以上、中央経済

社), ③原価研究会編『原価計算テキスト』(同文館)。

(2) 理解を深めるための文献——①岡本清『原価計算(三訂版)』, ②松本雅男『原価計算』, また問題集として③飯野・染谷編『明解簿記級一工業簿記・原価計算』(以上, 国元書房)。

経営分析

助教授 中 善

財務諸表分析を講義する。簿記学, 会計学および原価計算では, 主として会計情報の作成者として必要な知識を学習する。これに対して財務諸表は, 情報の利用者の立場から, 提供される財務諸表を利用する方法に注する。企業会計制度の生産物である損益計算書, 貸借対照表などは, われがある特定の企業あるいは業種の企業活動に関心をもつ場合に依拠する。な情報源の一つである。さらには内部的にも経営管理上の意思決定にもされる。本年度の講義は, まず財務諸表分析の基礎的な方法を講義する。なわち, 百分率表や比率を用いた流動性および収益性分析の方法を, 比較や同一企業の時系列比較にどのように適用するかを解説する。つい最近の情報処理技術の発展に伴なって急速な普及を見せている, 主成分や判別分析などの多変量解析による分析方法をとり上げる予定である。内容に関連する文献は, 講義中に適宜指摘するが, テキストとしては次を利用する。

青木茂男著 日経文庫「経営分析の手引」 日本経済新聞社 昭和45

憲 法

(前期) 助教授 結 城 洋

「憲法」という法形式が成立する歴史的な過程と意義を学び, わが国法については, 基本的人権を中心に具体的裁判例を参照しながら講義を

講義内容

I 総論

- (1) 憲法とは何か
- (2) 憲法の制定と改廃
- (3) 憲法の保障

II 日本の憲法

- (1) 明治憲法の特徴
- (2) 国民主権と象徴天皇制
- (3) 平和主義
- (4) 基本的人権

テキスト: 清水睦也『憲法講義1』, 大須賀明他『憲法講義2』有斐閣

参考書: 『憲法判例百選I・II』(別冊ジュリスト) 有斐閣

『憲法の争点』(ジュリスト増刊) 有斐閣

以上は六法とともに必ず入手されたい。六法は必携のこと。

その他: 阿部照哉他『基本的人権の歴史』(有斐閣新書)

芦判信喜編『憲法II・III』(有斐閣大学双書)

奥平康弘他編『テキストブック・憲法』(有斐閣ブックス)

行政法 I

教授 秋 山 義 昭

具体的な事例を素材にしながら, 行政法の全体を体系的に講義する。行政は, 憲法・民法等の知識を不可欠とするので, 受講者はこれらの科目についてすでに相当の成績で履修済みであることを要する。

テキスト: 遠藤・熊本・秋山・畠山「教材行政法判例」(北大図書刊行会)

参考書: 今村成和「行政法入門(新版)」(有斐閣双書)

田中二郎「新版行政法上(全訂第二版)」(弘文堂)

成田ほか「現代行政法」(有斐閣双書)

室井ほか「行政法を学ぶ1・2」(有斐閣選書)

行政法 II

(前期) 助教授 結 城 洋 一 郎

主として憲法のいわゆる統治機構につき講義を行う。但し, 地方自治, 財については後期で扱う。

テキスト: 清水睦他『憲法講義1』有斐閣

参考書: その都度紹介する。

行政法 II

(後期) 非常勤講師 猪 股 弘 貴

(小樽商科大学短期大学部助教授)

扱う対象は, 行政組織法として, 行政組織の基礎理論, 地方自治法, 公務法を, 行政作用法として, 警察法と財政法を予定している。特に, 地方自治法と公務員法が中心となると思うが, 憲法や行政法Iとも関連するので, 科目を既に履修済みであるか, 並行して勉強することを希望したい。講義に多くの法令を参照するので, 六法(小六法, 基本六法, 模範六法程度の)を必ず用意し, 持参してきてほしい。

テキスト 田中二郎『新版 行政法 中巻(全訂第二版)』弘文堂

財産法 I

教授 神田 孝

民法典は5編から成り、そのうち第1編総則、第2編物権、第3編債権、第4編親族法、第5編を家族法とよぶのが通例である。本講義では、裁判所が法を適用して解決する手続に関する法律のことをいうが、この財産法の前半の第1編と第2編が主要な対象となる。民法典は、私法の法であり、講学上も、法律学一般に妥当する数多くの基本的な概念が登場する。その意味で、他の法分野を勉強する前提としても、これを十分に勉強することが必要である。

テキスト、前期：四宮和夫著『民法総則』（弘文堂）

後期：検討中、後日指示する。

参考書は開講時に紹介する。

六法全書は必携（どの出版社のものでもよい。ただし、試験の際には、例や解説の付いている六法の持ち込みは許されない）

財産法 II

(前期) 非常勤講師

松 久

三新堂幸司『民事訴訟法〔第2版〕』（筑摩書房）

(小樽商科大学短期大学部助教中野貞一郎・松浦馨・鈴木正裕編『民事訴訟法講義〔補正版〕』（有斐閣)

民法は、われわれの財産関係と家族（親族、相続）関係を規律の対象として物に対する権利（例、所有権、抵当権）関係と人に対する権利関係が国の企業のほとんどは共同企業の典型的形態である会社組織をもって約を想起せよ。ただし、両者の厳密な区別は難しく、また必要でもない営まれており、現代の資本主義経済は会社とくに株式会社制度とはなれて規律の対象としており、本講義は後者を扱うものである。法律に対する考えられないといつてよい。会社法は、このような会社組織の成立から消の有無にかかわらず、われわれの生活においてひとたび紛争が生じると至る諸段階における利害関係人の利益調整を行なうことを主たる目的とする。講義は、かかる目的を有する会社法が現実の企業までもあるまい。本講義では、誰もが知っておくことの望ましい基礎的活動においてどのように機能しているかを知ってもらうために、できるか度やルールを平易に解説するとともに、ときに重要な問題をほりさげて判例などの具体的素材を提起しながら進めることにする。立する利益の調整・妥当な紛争解決のために多面的考察がいかに必要かを示していきたい。諸君の学ぶべきは民法の基礎であり、涵養すべきの柔軟かつ多面的考察力である（法を学ぶ主たる意義の一つはここに

テキストは、我妻栄・有泉享・民法II（一粒社）を用いる。

民事訴訟法

助教授 中島 弘 雅

講義内容

民事訴訟法というのは、私人間の生活関係から生じる紛争（民事紛争）に講義では、学生諸君が初めて民事訴訟法を学習するにあたっては、差し当をカットし、理論的ないし基礎的な問題についてのみ説明を行う。

その目的のためには、多少大部ではあるが、以下のテキストがもっとも理に近いと思われるので、本年度は、昨年までとテキストを変更する。ただ、のテキストは、多少個性が強いので、以下の参考書も併せて利用して欲しい。

テキスト

三ヶ月章『民事訴訟法〔補正版〕』（弘文堂）

参考書

三ヶ月章『民事訴訟法〔補正版〕』（弘文堂）

会社法

教授 青竹 正 一

教科書：上柳・北沢・鴻・竹内編『会社法I, II』有斐閣

参考書：ジュリスト別冊『会社判例百選（第四版）』有斐閣

河本編『株式会社法教材』商事法務研究会

商取引法

(前期)

講師

桑原 康 行

1. 講義内容

商事売買を中心として、講義を行う。時間的余裕があれば、運送・
についても検討したい。

2. 教科書

特に指定しない。

3. 参考書

講義内容に比較的近いものとして、神崎克郎『商行為法Ⅰ*商事
機能的考察*』（有斐閣）をあげておく。その他の参考書について

第1回目の講義の時に指示する。

商取引法 (後期) 非常勤講師 大塚 龍

(北海道大学法学部教

商法(明治32年法律48号。最新改正,昭和56年法律74号)第1編 総
概説する。

教科書:上柳・北沢・鴻・竹内編「商法総則・商行為法」(商法講
有斐閣

参考書:おって指示する。

経済法 (後期) 助教授 和田 健

経済法は独占禁止法をはじめ、市場機構に対する国家(行政)介入に
る一連の法律により構成されている。講義の目的はこの独占禁止法を中
国家(行政)と市場機構の現実の関係、およびその在り方を明らかにす
とにある。

。テキスト

実方・厚谷・向田・和田編「教材独占禁止法(新版)」

(青林書院新社2,000

。経済法・独占禁止法の教科書・参考書として以下のものを推薦する
れぞれ一冊を求めて勉強されることを望む。

(1)「経済法」一般に関して、

金沢良雄「経済法」(法律学全集59巻I,有斐閣,3,500円)

円宗昭信・厚谷襄児編「現代経済法入門」(法律文化社,2,000

(2)「独占禁止法」に関して、

今村成和「独占禁止法入門」(有斐閣双書,1,200円)

同 「独占禁止法」(法律学全集52巻II,有斐閣,2,500円)

実方謙二「独占禁止法入門」(青林書院新社,1,800円)

経済刑法 助教授 丸山 雅夫

主として財産犯を取り扱い、現代型の犯罪のいくつかにも言及する。なお、
法の基本的な考え方を習得する必要性から、総論の諸問題についても説明
加える。

テキスト:『ジュリスト増刊刑法の争点(増補)』藤木英雄編,有斐閣。

『別冊ジュリスト82刑法判例百選I総論(第二版)』,『別冊ジュリス

ト83刑法判例百選II各論(第二版)』平野龍一・松尾浩也編,有斐閣。

無体財産法 (夏季集中) 非常勤講師 半田 正夫

(青山学院大学教授)

著作権法を講義の対象とする。新著作権法が昭和46年1月1日に施行され
以来、はや10年以上が経過した。その間、機械技術の急速な進歩に伴い、

作物の新しい利用方法が生じ、これをめぐって著作権上のトラブルが各方
において多発する一方、国民の間にも著作権に対する関心がしだいに高ま
てきた。貸レコード問題、パロディ問題、コンピュータ・プログラムの法

保護の問題などのように、新聞紙上で著作権に関する記事が多くみられる
うになっているのもこのことを裏付けているといえよう。しかし、著作権
法構造とか制度の枠組みについては十分に知られることなく、不正確な知

のまま議論がなされるという傾向をうかがうことができる。そこで本講で
著作権法の構造を、平易に、かつ多くの事例をまじえて講義し、新しい
問題について諸君らとともに考えていくことにしたい。

テキスト:半田正夫著「著作権法概説(第3版)」一粒社

労働法 (前期) 助教授 島田 陽一

労働法全般をできるかぎり具体的な事例をとりあげて講義します。また、
者の権利に関する国際水準および現在の我国における立法動向にも注目
ていきたいと考えています。

講義内容

① 総論(労働法の基礎理論,歴史)

② 集团的労働関係法（労働組合，団体交渉，争議行為，労働協約，当労働行為）

③ 個別的労働関係法（労働憲章，労働契約，賃金，労働時間，女労働，就業規則，懲戒，労災補償，安全衛生）

テキスト ①外尾健一著『新版 労働法入門』有斐閣双書

②別冊ジュリスト『労働判例百選（第4版）』有斐閣

なお，受講に際しては，六法を必ず持ってきて下さい。（模範六法・三堂，小六法・有斐閣をすすめます。）

社会 保 障 法（夏季集中）非常勤講師 保 原 喜 志

（北海道大学教

I 総論 社会保障の概念，社会保障制度の歴史（イギリス，ドイツ，アメリカ，フランス），日本国憲法の生存権の考えかた，日本の社会保障制度の仕組み，社会保障財政を取り上げる。

II 各論 公的扶助（生活保護），医療保険，年金保険，労災保険，雇

用保険について，できるだけ実態や判例に触れながら検討する。

<参考書>

荒木誠之「社会保障法」（ミネルヴァ書房）

講義にでる前に，できるだけこの本を読んでくること。

ジュリスト別冊「社会保障判例百選」（有斐閣）

講義にでるときは，できるだけこの本をもってくること。

<その他の参考文献>

小川政亮編「社会保障法を学ぶ」（有斐閣選書）

近藤文二編「社会保障入門」（有斐閣双書）

西原道雄編「社会保障法」（有斐閣双書）

園部逸夫他編「社会保障行政法」（有斐閣大学双書）

角田 豊「社会保障法」（青林書院新社）

環 境 法 助 教 授 飯 塚 和

前期で「不法行為法」，後期で「環境法」を講義の対象とする。

講義内容

前期 I 不法行為法総論

II 不法行為法各論

III 救済方法論

後期 I 環境法総論

(1) 公害の規制

(2) 公害被害の救済

(3) 公害防止事業

(4) 公害防止計画

II 環境法各論

III 環境管理計画論

テキスト：（前期）川井健著『民法教室不法行為法』（日本評論社，2,000円）

（後期）原田尚彦著『環境法』（弘文堂，1,500円）

参考文献：幾代通『不法行為』（筑摩書房，2,600円），前田達明『不法行為法』（青林書院新社，3,400円），四宮和夫『事務管理・不当利得・不法行為（中巻）』（青林書院新社，2,700円）飯塚・堀田訳『イギリス不法行為法の基礎』（成文堂，2,300円）

国 際 法 I 助 教 授 中 村 恵

講義内容

国際社会における法秩序全般について，以下の順序で検討します。

- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 国際社会と法 | (2) 国際法の源泉 |
| (3) 国際法の主体 | (4) 国際法と個人 |
| (5) 条約法 | (6) 外交関係法 |
| (7) 領域法 | (8) 国際責任 |
| (9) 国際紛争の解決 | (10) 国際社会における平和維持 |

テキスト及び参考書
特定のテキストは使用しませんが，以下の書物を参考書としてあげておきます。

大平善悟・皆川洸編著『国際法講義』（北樹出版）
条約集については，以下を推薦します。

小田滋・石本泰雄編『解説条約集』（三省堂）

国際法Ⅱ

教授 大谷良

本年度の国際法Ⅱは、国際裁判制度および国際判例を中心に講義をし、レポート提出、発表、討論を義務づけますので、履修者はあまり多くないことを希望します。テキスト・参考文献については、開講時に指示をします。

国際機構論

教授 大谷良

前期は、国際連合を中心とした普遍的国際機構、後期は、ヨーロッパを中心とした地域的な国際機構について講義をします。

テキスト及び参考書。

- 1 高野雄一著「国際組織法（新版）」（有斐閣）
- 2 筒井若水著「国際法Ⅱ」（青林書院）
- 3 高野・筒井著「国際経済法」（東大出版会）
- 4 大谷良雄著「概説EC法」（有斐閣）
- 5 香西茂他編「国際機構条約集」（有信堂）

国際経済法

助教授 清水章

国際法のなかで国際経済の調整・発展を目的とする部分及びそれに関する国内法について、次の範囲で講義を行う。

1. 国際通商法
(1) 輸出入規制 (2) 二国間通商条約 (3) ガット
 2. 国際競争制限法
(1) 独禁法の渉外的適用 (2) 競争制限の国際的規制
 3. 国際投資法
(1) 投資規制 (2) 国有化と国家責任 (3) 海外投資の保護
 4. 国際知的所有権法
(1) 知的所有権の国際的保護 (2) 技術移転
 5. 国際金融法
(1) 外国為替管理 (2) 国際通貨制度 (3) 国際開発金融
 6. 国際租税法
(1) 租税条約 (2) 国内税法の国際化 (3) 国際的租税逡脱防止
- なお、テキストとして松下満雄『日米通商摩擦の法的争点』（有斐閣）

その他に高野雄一・小原喜雄編『国際経済条約集』（有斐閣）を使用する。

国際取引法

（後期）講師 桑原康行

1. 講義内容

次の順序で講義を行う。

- 一. 序論
- 二. 国際的売買
- 三. 国際的支払
- 四. 国際的運送・保険
- 五. 紛争の解決

2. 教科書

特に指定しない。

3. 参考書

講義内容に比較的近いものとして、道田信一郎「国際取引」（現代法学全集、現代の経済構造と法）（筑摩書房）所収、をあげておく。その他の参考書については、第1回目の講義の時に指示する。

管理科学通論

非常勤講師 浅利英吉

（東海大学助教授）

近代の組織体の管理・運営とその社会への対応は、既に人智を結集した科学の対象となっており、管理科学の名はこれに由来する。管理科学通論ではまずこの学問と技術の連峰を広く展望し、ついでその背梁山脈を形成している確率論・数理統計学へ入門する。ついでいくつかの数理手法—たとえばシミュレーション、予測、線形計画法—をえらび、それらの理論と実際を論ずることを通じて、管理科学を学ぶ基礎をやしなわしめるものとする。

管理科学Ⅰ

助教授 若林信夫

本年は、マイコンとORについての理論と実践を習得する。

I. 線形計画法とその応用.

- | | |
|------------|---------------------|
| I. 1 モデリング | I. 2 解法 |
| I. 3 感度分析 | I. 4 割り当て・輸送・積みかえ問題 |
| I. 5 二次計画 | |

II. 確率的意思決定分析

- | | |
|-----------------|--------------|
| II. 1 確率概念、確率分布 | II. 2 マルコフ性 |
| II. 3 在庫理論 | II. 4 待ち行列理論 |
| II. 5 組織と情報 | |

III. データベース・知識ベース論

- | | |
|----------------|---------------------|
| III. 1 関係と推論 | III. 2 データベースソフトウェア |
| III. 3 専門家システム | |

新計算センターの演習室を時々使用の予定。習得するプログラム言語は、APL, Lisp, Pascal, dBASE III, Insight となろう。

教科書、参考文献は講義時に指示する。

管理科学 II

教授 樋口 透

ORは、企業の科学的管理を指向したものであるが、本論では、もう少し広く、社会システムに焦点をあてる。つまり、社会に存在する矛盾や不合理性が何であり、またそれらをどのように解決し、調和のあるシステムとして存続させるか。このような観点からORおよびシステム論を考える。

比較的新しい分野であり、市販の文献にない理論や手法も解説するので講義に出席し、その場で理解することが肝要である。なお、演習問題を課するのでコンピュータのプログラミングに習熟しておく必要もある。

教科書(前期)：鈴木光男・中村健二郎「社会システム」共立出版

後期は教科書を用いない。

管理科学 III

(前期) 教授 戸島 熙

recursion をメインテーマとして関連するいくつかの話題について解説する。さしあたって以下のような話題を予定している。

1. 数学的帰納法,
2. BNF,
3. ラムダ算術,
4. 算術の表現,
5. recursion と iteration,
6. recursion の実現法,
7. プログラム自動合成。

これらは管理科学科の学生ならばすべてひととおり理解していなければならぬ事項である。

管理科学 III (後期) 教授 沼田 久

後期では、ORに必要な、ものの見方、考え方、コンピュータの世の中における使われ方、その他種々の題材をとり上げる予定。

前期の講義内容とは直接の関連はないので、そのつもりで聴講すること。

機械化会計

教授 山田 一生

機械化会計とは、その言葉の通り理解すれば、機械化された会計を意味する。より具体的には、会計処理の機械化を意味するのであり、伝統的には会計組織論の研究領域として認識されてきたのである。今日的には、会計学全般にわたる情報システムズ・アプローチの台頭によって、かなり広範囲の研究領域を包摂するものと言えよう。この研究領域は、1966年のAAAの「基礎的会計理論」(A Statement of Basic Accounting Theory)の表明以来伝統的会計理論に対する強烈なインパクトとして認識され、Accounting Information Systems あるいは情報システムとしての会計を指向する「会計情報システム」へと発展されるのである。

このような会計研究に関する学術的アプローチの結果、伝統的企業会計制度としての会計システムは、とくにコンピューター・インパクトおよび情報科学の影響によって、新しく会計情報システムとして展開される。すなわち、会計情報システムは企業の経営管理に関して、(1)事後計算(報告的会計)、(2)現在計算(管理的会計)、(3)事前計算(予測的会計)のそれぞれの情報を提供し、経営意思決定に役立つ情報システムとなる。さらに、最近におけるDB/DC(Data Base/Data Communication)に関するソフトウェア技術分野での発展に伴って、「計画策定と予算編成プロセスへの意思決定支援システム」(Decision Package Programmes)の実証的研究なども登場したのであり、財務計画を中心とする、Decision Support Systems の研究領域などは、今後ますます重視されるべき発展方向となるであろう。

本講座における具体的な講義内容としては、(1)会計処理におけるコンピューターの位置づけ、(2)会計とコンピューター・プランニング、(3)会計とコンピューター・オペレーション、(4)会計とコンピューターライズMIS、(5)コン

コンピューター時代の会計として、その体系化をはかる意図をもつが、講義と演習とを同時併行させる方式を実現できるよう配慮することにする。すなわち、演習プログラムの主要なものとしては、(I)仕訳プログラム、(II)勘定記入プログラム、(III)試算表プログラム、(IV)精算表プログラム、(V)修正財務諸表プログラム、(VI)デシジョン・パッケージ・プログラムなどについて、COBOL 言語を中心とするDB/DCアプローチを展開する予定である。これらの同時併行作業を通じて、会計情報システムの原理的ならびに実証的研究をはかり、会計情報システムの基本的設計を究明するとともに、さらに、機械化会計の諸問題についても論述する。

主要参考文献ならびに参考文献については、きわめて多数のものを列挙する結果となり、標準的なテキスト・ブックを指定することは、とうてい困難である。したがって、講義の中で必要に応じて、その都度紹介する。

情報処理

助教授 杉本英二

情報処理の流れは次の3つのステップで考えるとわかりやすいだろう：

- (1) 情報の記号化（機械的に処理するために情報を記号化する）
- (2) 記号計算（記号化された情報の間で、いわゆる計算あるいは、推論という計算を行なう）
- (3) 結果の評価（ステップ2で得られた記号を情報として評価解釈する）

このようなステップを、記号論理学を用いてわかりやすく講義する。
テキスト：長尾・淵「論理と意味」、岩波講座 情報科学—7

応用数学（代数）

（前期）教授 沼田久
（後期）講師 中村隆志

経済学、管理科学、統計学等の勉強を進めるために必要な線形代数学を講義する。ベクトル空間、行列、行列式、線形不等式、凸集合等々の諸概念に慣れること、行列やベクトルを含む演算に慣れること、線形計画問題の解法の初歩に触れること、線形代数学が経済学などにどのように応用されているかを知ることなどである。計算機論I、応用数学（解析）とともに、管理科学の学生は必ず履修することが望ましい。

高等学校的な数学の得手・不得手とはあまり関係はないが、論理的能力ま

たは、ある程度の根気が必要である。

なお、二度目、三度目等になる履修者には、採点を厳しくするので、安易な態度で履修届を出すと後悔するかも知れない。

教科書：沼田 久「線形数学序説」学術図書出版社

応用数学（解析）

講師 中村隆志

管理科学、経済学などを学習するための数学的基礎となる微分方程式、差分方程式を中心に、それらの基本解法、数値計算法、各種の応用などについて講義する。

教科書

松田正一、洲之内治男、杉山昌平：“ORのための基礎数学3（差分・微分方程式と最適値問題）”，丸善

「数学」は履修済みであるとして講義を進める。

なお、積分に関する基礎知識が必要となるため、最初の数週間は昨年度「数学」で使用した教科書。

水本久夫：“微分積分学の基礎”，培風館
を使用する。

また、後記には電子計算機による数値計算の演習を行うので、「計算機論I」を併せて受講し、基本的なプログラミング技法を習得しておくことが望ましい。

応用数学（統計I）

助教授 清水川 緋紗子

教科書：A.M. ムード他著『統計学入門』（上）原書第3版
大石 泰彦 訳 マグロウヒル好学社

数表：日本規格協会 『統計数値表』 コンサイス版

応用数学特講I

（前期）非常勤講師 小林正忠
（元北海道大学教授）

物理学では数学は物理学の言語であると思われる程に密接であった。社会科学の研究に数学を用いる試みが起ってから数十年を経過した。物理学で取り扱う量には恒数があり、その量を計量するとき、連続量であることで、数学で取扱うために数学も物理学と共に進歩した。社会科学で取扱う量を計量

するとき、一定期間ごとにする。従って、その量を $f(t)$ で表わすとき、 $f(t)$ の変域は $t=1, 2, 3, \dots$ である。ある条件の下で

$$f(t), f(t+1), \dots, f(t+n)$$

の間にある関係式を知って、 $f(t)$ を求める問題が差分方程式の問題である。これが社会科学を数学的に研究する問題である。社会科学の原因を計量出来る量に表現することはムツカシイ問題である。その量を選んでモデルを創造して、それを差分方程式で表わす。

ここでは、差分方程式の解法

- 1 差分 (Δ) 和分 (Δ^{-1}) による解法
- 2 演算子 E による解法
- 3 差分方程式の解は既知関数 (指数関数, 三角関数, 多項式との和, 積) で表わされる。E を微分演算子 D で表わして解く方法
- 4 応用 (級数の和分の関係, 連立差分方程式, 市場, 国民所得, 等)

参考書 杉山昌平 差分方程式入門 森北出版
高橋健人 差分方程式 培風館
松田, 洲之内, 杉山 ORのための基礎数学3巻 丸善

計算機論 I (前期) 助教授 杉本英二

前期の計算機論 I は、本学のコンピュータ利用に慣れてもらうための入門コースである。コンピュータを利用するには、どのようにコンピュータを動かすか指令を書かなくてはならない。この指令をどのように書けば、人間の意図どおりにコンピュータに伝わるかを定めたものを、コンピュータ言語という。この言語にはいろいろなものがあるが、やさしくてよく使われている FORTRAN 言語を講義する。

今年度、計算機センターが改築され実習のための教室が新たに設置されたので、これまでのように狭くきゅうくつで、他人の利用が終るまで時間待ちが普通だということも緩和されよう。大きくなった新計算センターをどしどし利用して下さい。なお、前期・後期とも実習は必須条件であるので、各自が実習のための時間を別に予定しておくことが望ましい。

テキスト：森口繁一「JIS FORTRAN 入門 (上)」(第3版)

東京大学出版会

計算機論 I (後期) 助教授 若林信夫

後期には、現代的なプログラム言語といわれる標準 Pascal と標準 Lisp を基に、数値の処理、記号の処理、ならびにテキストの処理が計算機上でどのようにプログラムできるかを基礎的に学習する。また、

- ・なぜ計算機が使われなければならないか、
- ・どの位の計算の手間が掛かるか、
- ・もっと別の効率的な算法はないか、
- ・経済学や社会科学への応用

などについても講義する。

受講者は、後期の講義前に掲示される「自習書」を1冊選択し、各自、言語の自在な活用と演習を行っていただく。数学書と同じく、1字1句、正確に読み、検討し、計算機で確認することを希望する。ラインプリンタからの出力は「自習ノート」に丁寧に貼付する。

後期試験は、講義ノートと上記の自習ノート各1冊を「持ち込み可」とする。

計算機論 II 教授 戸島 潤

リスト処理言語 Lisp の処理系、すなわち、Lisp インタプリンタと Lisp コンパイラの内部構造と実現法について講義することを通じて、計算機科学の諸問題を解説する。Lisp 言語については既知とし、プログラミング経験を前提する。文献はその都度指示する。

6 教職科目

教育原理 講師 上野 耕三郎

教職を志望する学生が「教育」について考える基盤は、おそらく自己の被教育体験であろう。被教育体験を対象化することはたいへん重要なことである。しかし、そのことだけから教育についての考え方を一般化することは無理であろう。この講義はこれまで教育学が蓄積してきた考え方を身につけ、現代社会の教育事象に対して分析できるだけの基礎的能力を身につけることを目的とする。授業では教育目的、教育内容、教育方法、教育制度、教師の各領域にわたって、基礎的な考え方を講義する。

テキストは教師養成研究会『教育原理 五訂版』を使用する。

教育心理学 非常勤講師 湯浅 誠 哉 (北海道薬科大学助教授)

「教育心理学」は学校教育に携わる者には勿論必須の学問である。この学問はそれにとどまらず、広く家庭、職場等あらゆる社会における教育、学習、訓練、自己啓発、人間関係の改善にきわめて有益な理論と方法を提供する。

本講では、上のような事柄を考慮しながら、発達、学習、知能、人格(性格)、適応、さらには、今日の青少年の社会病理現象、精神衛生の問題を取り扱う。

教育史 講師 上野 耕三郎

近代の西洋教育史を中心に講義します。

人間社会はいつの時代でも教育という営みを抜かして語ることはできない。そしてどの時代でも、その時代の社会が解決しなければならない教育の課題というものが存在したはずです。いつの時代のどんな教育思想、理論、政策、制度でも、その時代の教育課題についてのひとつの対応として現われてきたわけです。したがって教育史は各時代の教育課題とそれに対する解決方法の提示の試みとも言えるでしょう。

この講義では各時代の教育課題が何であったか、そして当時の思想家、政策者がどのような課題解決の理論や政策を提示したかをあとづける予定です。

テキストは中野光・志村鏡一郎編『教育思想史』有斐閣新書

職業指導 非常勤講師 石井 茂 (元北海道教育大学教授)

講義は、最初に、職業指導の問題所在を指摘し、以下それにそって、講義を展開するが、都合により変更もあるので申し添えます。

1. 職業指導の問題所在
 2. 職業指導と進路指導との関係
 3. 職業と教養
 4. 職業指導の史的考察—職業指導運動とその背景を中心として—
 5. わが国における職業指導—学校職業指導を中心に1の史的考察
 6. 職業指導の理論
 7. 職業適性と心理学的諸検査
 8. 企業と教育—企業内教育
 9. 職業指導(進路指導)の現状と問題
- 教科書は、特に指定しない。
参考書は、講義の中であげる。
評価には、出席状況を考慮する。

英文学史 教授 永原 和 夫

イギリス文学の歴史的概説を行なうが、受講者には戯曲または散文による作品を最低4編を読みレポートを書いてもらう。

テキスト: Waldo Clarke, *A Short History of English Literature*

金星堂, ¥1,700

英文学演習 I 助教授 君 羅 久 則

藪下卓郎・床尾辰男編, *A Choice of English Romantic Poetry*. (金星堂)
小川二郎・杉本龍太郎編, *Golden Treasury a Selection* (新日本教文大学社)
英詩を読むための基礎的な知識(英詩法の概説)を織り込みながら、英国ロマン派の詩を中心に、その前後、できれば現代英詩まで、広範囲にわたる詩を読むことにする。

参考書: 志子田光雄著『英詩理解の基礎知識』(金星堂)

大山敏子著『英語修辞法』（篠崎書林）

斉藤勇著『英詩概論』（研究社）

斉藤勇著『英米文学辞典』（研究社）

言語学概論

非常勤講師 池上二良

（北海道大学名誉教授・札幌大学教授）

人間のことばというものについて、言語活動、言語記号、言語体系、言語変遷の順に述べる。筆記帳携帯のこと。

言語学概論

（後期）

助教授 下村五三夫

ウラル諸語へ音声学の立場より入ってゆきます。

Juha Janhunen 著 *The Uralic Languages: Examples of Contemporary Usage*, Suomalaisen Kirjallisuuden Seura 発行 (Helsinki 1975) をテキストとして使い, Lapp, Volga-Finnic, Permian-Finnic, Ob-Finnic, Samoyed の言語グループを概観します。*The Uralic Languages* はヘルシンキでのみ売られているので、五月の時点で受講者の数の分を海外発注します。18フィン・マルク (¥ 720) です。受講者は必ず購入しなければなりません。

英語学演習 I

教授 武本昌三

（テキスト）Joan McConnell: *Language and Culture* (成美堂)

言語と文化の関わりあいを考察していく。

Ⅲ 研究指導要項

井上教官担当研究指導

1 研究主題

International Economic History

2 指導要領

3年次と4年次の前半まで約1年半をかけて、国際経済史に関するテキスト（英文）を読み、また研究主題に関連するわが国の研究史をホローします。4年次の後半からは卒業論文の作成指導に重点をおきます。

3 テキスト

A.G. Kenwood and A.L. Lougheed, *The Growth of the International Economy 1820—1960*, 1971

長谷川教官担当研究指導

1 研究主題

日本経済史のうち、近世後期（幕藩制解体期の社会と民衆）。

2 指導要領

3・4年次一下記テキストの講読と史料の検討。卒業論文のテーマは上記主題に限定しなくともよいが、3年次末までに方針をたてること。

毎週かなりの量の論文や史料（文語文に近い漢文）を読むことになるので、中以上の漢和辞典・古語辞典および大型の国語辞典が必要になる。

3 指導テキストおよび参考書

〔入門〕深谷克己著『南部百姓命助の生涯』朝日新聞社、1,800円。

〔テキスト〕歴史学研究会・日本史研究会編『講座日本歴史』6・近世2, 東京大学出版会、1,500円。他。資料集についてはおって指示する。

テキストは変更もありうる。

4 申込の条件

歴史学・社会思想史・経済史概論・経済原論Ⅱなどを履修していることが望ましい。

5 選考の方法（面接・テスト等）

テストと面接による。その際、大学入学後、日本史・世界史または社会科学・社会思想に関して読んだ本（1～3冊位）の著者・書名・出版社（または文庫・新書名）と内容を思い出しておくこと。

6 その他

積極的な研究意欲と行動力を期待する。またゼミナールとしての共同の行事を大事にしてほしい。

早見教官担当研究指導

研究主題：政府収入および支出の経済効果および収支行動の順則について。以上が財政学又は公共経済学の総合的問題であるが、私のゼミではどちらかというところ財政研究の基礎理論の修得が主であった。それは財政学が経済理論と政策の応用分野であるという考えによる。今迄もこの方向をとって行きたい。

3年次生：昭和60年度では以下を読む

Barro, Robert J., *Macroeconomics* (Wiley & Sons, 1984).

以上を読了ののち、個別テーマの報告に入る。

志望要件：(1)経済学概論履修のこと。(2)経済学科を主とする。(3)英語文献を根気よく読み続けうる時間と習性をもっていること。

募集人員：10名以内。それ以上になるときは、試験その他を参考にして選ぶ。

久次教官担当研究指導

1. 研究主題 統計学の数理的方法論に重点をおく。

2. 指導要領

3年次 テキストの講読・討論・演習

4年次 追加文献の講読および卒業論文の作成

卒業論文のテーマは下記の分野から選ぶ。

- ・統計学・計量経済学の数理的方法論
- ・実証分析
- ・統計に関するソフトウェア

3. 指導テキスト

J. Johnston, *Econometric Methods*, McGraw-Hill, 3rd edition, 1984.

4. 申込みの条件

統計学を履修中のこと。

経済学科以外に所属する者も受け入れる。

5. その他

(1) 解析学（偏微分など）、線形代数（逆行列、固有値など）について

は2年次までに修得しておくこと（未履修者も受け入れるが自習して

ほしい。）

(2) 3年次においては「数理統計学」を履修すること。

吉武教官担当研究指導

1. 研究主題

社会政策・社会理論の諸問題、工業経済学の諸問題

今年の3年ゼミには社会理論の名著として知られる古典アリストテレスの『政治学』を英訳でよむ。

2. 指導要項

(1) 3年生は下記古典をよむ

(2) 4年生は卒業論文にとりかかる

3. 指導テキスト

Aristotle, *The Politics*. Translated with Introduction,

Note, and Appendixes. By Sir Ernest Barker.

Paper covers. 448. 4.50 (¥2,520)

鶴沢教官担当研究指導

1. 研究主題

理論経済学、特に、ミクロ経済学を中心

2. 指導要領

3年次では、英文テキストによる学習および、その他の論文を読む。

4年次では、個別テーマに基づく卒業論文作成のための報告と討論を中

心にする。

3 指導テキストおよび参考書

Champsaur, P., and J.-C. Milleron, *Advanced Exercises in Microeconomics*, Harvard University Press, 1983. [1984年度使用]

Varian, Hal R., *Microeconomic Analysis*, W. W. Norton & Company, INC., 1978. [1985年度使用].

倉澤資成『入門価格理論』(日本評論社, 1983年)

遠藤教官担当研究指導

1 研究主題

計量経済モデル

2 テキスト

Deaton and Muellbauer, *Economics and Consumer Behavior* (3年次生)

Phlips, *Applied Consumption Analysis* (4年次生)

今教官担当研究指導

1. 研究主題

金融理論および金融政策

2. 指導要領

3年次: 文献の輪読

4年次: 卒業論文の作成

3. テキスト

D. G. Pierce and D. M. Shaw, *Monetary Economics*.

佐竹教官担当研究指導

1. 研究主題

国際経済に関する諸問題の研究

2. 指導要領

3年次は下記テキストの輪読。国際経済学の基本的な考え方を習得とする。

4年次は卒業論文の指導。

3. テキスト

Chris, Milner and David Greenaway, *An Introduction to International Economics*

栗田教官担当研究指導

1 研究主題 ヨーロッパ, 近・現代の経済学史。

2 指導要領

3年次: テキスト講読を中心に, 重商主義から現代に至るまでの経済学の歴史を辿る。原典については, その都度必要な部分を読むことにしたい。その上で(恐らく4年次になってからだと思うが), 特定の経済学者・学派を各自が選択し, 個別研究を行ない, 卒業論文を作成する。

3 指導テキストおよび参考書

(1) R. B. Ekelund, Jr. and R. F. Hebert, *A History of Economic Theory and Method*, 2nd edition, McGraw-Hill-Kogakusha, 1981。

(2) M. Blaug, *Economic Theory in Retrospect*, 3rd edition, Cambridge University Press, 1978。(久保・真実・杉原・宮崎訳『新版経済理論の歴史』全4冊, I. II. 以下未刊, 東洋経済新報社, 1982—84)

(1) 社

(2) (3) 岡田純一『経済思想史』(経済学入門叢書 25), 東洋経済新報社, 1970。

船津教官担当研究指導

1. 研究主題

「日本の通商・産業政策に関する実証研究」

特に, 戦後の日本の経済復興, ならびに'70年代の2度のオイル・ショックの時期に果たした通産省の役割について研究する。

2. 指導要領

3年次には, 研究課題についての問題意識を深めると同時に経済学の基本

的な分析道具の習得に力点を置いて指導する。具体的には、簡単な理論モデルを学んだ後、操作の容易な計量経済学のパッケージ・プログラムを用いて、理論モデルから演繹された命題が現実のデータによって否定されるかどうか検証するという作業を行う。

4年次には、各自のテーマに沿って卒論の指導を行う。

3. テキスト

通商白書, Wall Street Journal

石原教官担当研究指導

1. 研究主題

金融・証券市場の研究

2. 指導要領

(イ) 全般：上記主題に関する原書や論文を講読し、報告、討論をつうじて

基礎的な知識を修得する。

(ロ) 三年次生：入門書的な文献を講読し、基本的な能力をつける。

(ハ) 四年次生：個人テーマによる文献講読と卒業論文の指導。

3. 使用テキスト

(イ) 三年次生：金融論に関する文献を使用。

(ロ) 四年次生：証券市場論、企業財務論に関する文献を選んで使用。

久野教官担当研究指導

1. 研究主題

会計学（簿記学をふくむ）

2. 指導要領

3年次：わが国の『企業会計原則』の批判的研究と外書講読を中心にして基礎的知識を修得させる。

4年次：卒業論文の指導—各人の発表をもとにしてディスカッションを行う。

3. 指導テキストおよび参考書

3年次の後半において使用する外書は学生諸君と相談のうえ決定する。

4. 申込みの条件

2年次終了時において語学その他の基礎教育科目の所要単位を取得し、かつ簿記学の単位を優秀な成績で取得可能な者。

5. その他

ゼミという組織にかんがみ、ゼミに求める以上にゼミに貢献できる人物を望みます。

斎藤教官担当研究指導

4年次生 広告記号論の学習と卒論個別指導。

篠崎教官担当研究指導

1. 研究主題

組織の社会科学的研究

組織を管理の狭い枠の中だけで考察するのではなく、広く歴史的な社会経済の中で流動するものとして捉える。現代的な組織論を取り上げるにしても、単にそれを覚えるという姿勢で臨むのではなく、その生成の社会的経済的必然性において捉える。

2. 指導方針

(1) 社会経済的基礎概念、組織現象の根本原理の学習

(2) 現代組織理論の批判的学習

(3) 卒論指導

3. テキスト、参考書

内田義彦『社会認識の歩み』、『資本論の世界』 岩波新書

バーナード『経営者の役割』 ダイヤモンド社

ペロー『現代組織論批判』 早稲田大学出版部

ブレイヴァマン『労働と独占資本』

山下教官担当研究指導

研究主題

マーケティング。

指導要領

- (1) 基本的文献の講読
- (2) ビジネス・ゲームのモデル構築とその操作
上記(1), (2)はいずれもグループ毎の競争的な活動を予定している。
- (3) 論文指導

和田(完)教官担当研究指導

指導要領

- (1) 全般：上記主題に関する原書や論文を講読し、報告、討論を交わして基礎的な知識を修得する。

鶴野教官担当研究指導

研究主題 経営計測とコンピュータ・シミュレーション

指導要領 3年次：テキストの講読

4年次：追加文献の講読と卒業論文の作成

指導テキストおよび参考書

- 岩田暁一、『経済分析のための統計的方法』東洋経済新報社、芝祐順、『相関分析法』、東京大学出版会、森村英典、大前義次、『応用待ち行列理論』、日科技連出版社、中西俊男、『コンピュータ・シミュレーション』、近代科学社。

榎本教官担当研究指導

企業経営の史的展開に関わるいろいろなトピックスをとりあげて研究します。

- 3年次：基礎的文献を読み、その後卒業論文のテーマを決定して、とりくみを始める。

4年次：卒業論文の作成をめざしてゼミナール活動を行なう。
基本的にはゼミナリスTen全員の共同研究によって卒業論文を完成するのが本ゼミナールの特色です。

小田教官担当研究指導

1. 研究主題
企業形態論にかかわる諸問題
2. 指導要領
3年次—テキストの輪読
4年次—各自の選択した卒業論文テーマに関する報告と討論
3. 指導テキスト
北原勇『現代資本主義における所有と決定』、岩波書店、1984年。
その他、もう一冊読む予定（英語文献）。

中教官担当研究指導

1. 研究主題
管理会計
2. 指導要領
3年次生：管理会計の学習を進めるにあたって基礎となる概念や方法を理解するために日本語文献によって原価計算の学習を輪読形式で行なう。
4年次生：当初外国文献を講読しながら、各自の選択したテーマについて報告と討論をくり返して、最終的に卒業論文の作成へ導く。
3. 指導テキストおよび参考書
3年次生：別途指示する。
4年次生：Dopuch, Birnberg & Demski, Cost Accounting, 3rd ed., Harcourt 1983.
4. ゼミ所属の条件
2年次修了までに簿記学の単位を良い成績で取得可能な者。

林教官担当研究指導

1. 研究主題

労務管理論および組織心理学

2. 指導要領

3年次生：まず上記の研究主題について基礎的認識をもってもらい、できるだけ早い時期に個人研究のテーマを設定できるようにしたい。

4年次生：個人研究の報告と議論（実証研究を奨励する）。

3. 指導テキストおよび参考書（論文も含む）は多数、適宜指示。

福島教官担当研究指導

1. 研究主題

原価計算および管理会計

2. 指導要領

3年次の前半では基本的な「原価計算」ないし「管理会計」のテキストによって基礎知識を身につけ、その後半から4年次にかけて「管理会計」の外国語文献（英文）の精読によって知識を深める。ひきつづき卒業までに、各自選択したテーマで卒業論文を執筆する。

いずれの段階においても、単なる知識の修得だけでなく、討論を通じて研究主題特有の考え方を培うことを目標にする。

3. テキスト

使用するテキストはゼミ生と相談して決定するが、現在考慮中の候補としては、岡本清『原価計算（三訂版）』（国元書房，1980）あるいは辻厚生編著『管理会計の基礎理論』（中央経済社，1985），外国語文献としてはD. T. DeCoster and E. L. Schafer, *Management Accounting A Decision Emphasis*, 3rd editionの後半があげられる。

4. 留意事項

ゼミ生には旺盛な研究意欲とならんで地道な学習努力を要求する。

松本(康)教官担当研究指導

1. 研究主題

簿記・財務会計・国際会計論

2. 指導要領

3年次：次のスケジュールに従って、ゼミ生共通の知識を身につけた上で各自が問題発見に努めることを目的として、文献（和文、英文）を数冊輪読します。

○春休み～9月：簿記の修得，財務会計論入門

○10月～12月：財務会計論における諸問題の解明

○1月～2月：国際会計論入門（とくに、多国籍企業会計における諸問題，会計制度統一化の動向について）

4年次：卒業論文の作成を最終目的として、各自の選択したテーマについて発表と討論を行います。なお、前半は特定の共通テーマについて研究発表をしてもらいます。

3. 指導テキストおよび参考書

上記指導要領に従って適宜指示します。

4. 申込みの条件

ともかくも、つねに問題意識をもって会計（学）を積極的に勉強する意欲のある学生であること。そして、勉強以外のゼミ活動にも能動的に参加できる者を希望します。

森田教官担当研究指導

東西問題と南北問題との経済的関連を中心に、国際経済関係について考える。テキストは、G. Adler-Karlsson, *The Political Economy of East-West-South Co-operation* (Springer-Verlog, 1976), あるいは、C. Saunders, *East-West-South* (Mcmillan Press, 1981)を予定している。

山本教官担当研究指導

3年次においては、文献講読、レポート提出により会計学の基本的思考を修得し、4年次において、各人の選択したテーマにしたがって卒業論文を作成する。

指導計画は次のとおりである。

- 3年次前期：邦語文献（本年度は飯野利夫著『財務会計論』（同文館））の輪読と報告。
- 3年次後期：外国語文献（未定）の輪読と報告。
- 4年次前期：雑誌論文（外国語・邦語）による報告と討論、および卒業論文のテーマ選択。
- 4年次後期：卒業論文の作成と報告。

青竹教官担当研究指導

1. 研究主題
会社法の研究
2. 指導要領
会社法に関する具体的問題を検討することにより会社法が現実の企業活動とどのようにかかわっているかを知ってもらう。なお、4年次の後半は卒業論文の作成指導とする。

3. 指導テキストおよび参考書
 - (1) 上柳・鴻・竹内編『会社法演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』有斐閣
 - (2) ジュリスト増刊『商法の争点（第二版）』有斐閣
 - (3) ジュリスト別冊『会社判例百選（第四版）』有斐閣

秋山教官担当研究指導

1. 研究主題
「行政判例の研究」
過去の重要な行政判例をとりあげ、具体的なケースを通して、行政法の構

造、法理、解釈を検討することをねらいとする。

2. 指導要領
3年次生は、とりあえず下記の(1)を用い、行政判例の基本的な読み方を解読論の基礎を身につける。4年次生は、下記(1)および(2)を用い、直接判決文にあたりながらより深く判例理論を分析する能力を養うこととし、後半は卒業論文作成を中心とする。

3. 指導テキスト
 - (1) 行政判例百選Ⅰ、Ⅱ（別冊ジュリスト）
 - (2) 判例時報

大谷教官担当研究指導

広く国際感覚の修得をテーマとし、3年次は、原書講読、4年次は卒業論文の作成指導を中心とします。

神田教官担当研究指導

1. 研究主題
民法学における重要問題の研究。
2. 指導要領
重要判例や事例問題の検討をととして民法の全体像・運用の実際を理解するとともに、民法学上の現代的課題を研究する。
2名ないし3名のグループで共同研究してもらい、その報告をうけて全体で論議する。
4年次の9月以降は、卒業論文の指導を中心とする。

3. 指導テキストおよび参考書
相談のうえ決定したい。但し『民法の争点』（ジュリスト別冊）および『民法判例百選Ⅰ・Ⅱ』（ジュリスト別冊）は、副読本として用いることは確実なので、予め購入しておくこと。

飯塚教官担当研究指導

1. 研究主題
「環境法の諸問題」。今年度は環境法の歴史的展開を明らかにすることを目的に、イギリスのニューサンスに関する文献を読む。但し、随時、我が国の重要判例・文献についても検討する。
2. 指導要領
テキストの輪読。
3. 指導テキストおよび参考書
G. Williams & B. A. Hepple. Foundations of the Law of Tort.
邦訳『イギリス不法行為法の基礎』成文堂 ¥2,300
MCLAREN, Nuisance Law and the Industrial Revolution. 3
Oxford J. of Legal Studies 155 (1983)

島田教官担当研究指導

1. 研究主題 現代労働法学の検討
具体的には、現代労働法に提起されているさまざまな法律問題を解釈論および立法論の角度から検討することになります。
2. 指導要領
3年次：下記のテキスト①にもとづき労働法学の基礎知識を習得することをめざすと同時に、裁判例を読みこなす訓練をします。
4年次：前期には、個別裁判例の素材とする、いわゆる判例研究をおこない、後期では卒論作成指導に重点をおくことになります。
3. テキスト
① 久保敬治・下井隆史著『労働法を学ぶ人のために（増補版）』世界思想社。
② 別冊ジュリスト『労働判例百選（第4版）』有斐閣
裁判例については、必要な都度指示します。

清水教官担当研究指導

1. 研究主題
「国際経済法」
ガット並びに米国及び欧州共同体の法制度を中心に、国際通商の法的問題を研究する。
2. 指導要領
3年次及び4年次前半—下記テキストの第5章以下を講読する。
4年次後半—卒業論文の指導を行う。
3. 指導テキスト
Edmond McGovern, *International Trade Regulation* (1982)
S. C.
5. Tariffs and Quantitative Restrictions
6. Non-Tariff Barriers I
7. Non-Tariff Barriers II
8. Differential Treatment
9. Developing Countries
10. Safeguard Measures
11. International Rules on Subsidies and Dumping
12. Countervailing and Anti-Dumping Duties: United States and European Community.
13. General and Security Exceptions
14. Agriculture
15. Commodity Arrangements
16. Regulated Trade in Industrial Sectors

中島教官担当研究指導

1. 研究主題
民事訴訟法の各分野における重要判例の研究
2. 指導要領
下記のテキストに紹介されている判例を素材に、民事訴訟法の重要問題に

ついて検討する。

4年次後半は、卒論の指導を行なう。

3. 指導テキスト

新堂幸司他編著『考える民事訴訟法』（第3版）（弘文堂）

中村(恵)教官担当研究指導

1. 研究主題

3. 国際法上の基本問題

2. 指導要領

3年次——下記ケースブックにより国際先例の研究

4年次——卒業論文指導

3. 指導ケースブック

Harris, D. J.: *Cases and Materials on International Law*, 1983

(Sweet & Maxwell)

結城教官担当研究指導

1. 研究主題

近代立憲主義の基本原則

2. 指導要領

3年次生は下記のテキストを輪読し討論を行う。テキストの各項目にかかわる、わが国の主要な判例は随時報告を求める。

4年次生は卒論の作成を報告を行う。

3. テキスト 杉原泰雄編『憲法の基礎概念Ⅱ』（講座憲法学の基礎・第2

巻）勁草書房

和田(健)教官担当研究指導

1. 研究主題

市場機構に対する行政介入における諸問題の検討

2. 指導要領

(a) 競争政策の問題点の研究。独禁法のケーススタディを手がかりに同法の理解を深めるとともに、問題点をとりあげて議論することによって、競争政策の在り方を考える。毎回全員にレポート提出が義務づけられる（だいたい3年次）。

(b) (a)の研究のなかから明らかにされた問題を、1つの統一的なテーマとして組み立て、総合的に考察することを試みる。その間定期的に卒業論文の指導を行なう（4年次）。

以上については、独自の研究課題割り当て表（アサインメント）を最初に配布する。

3. 参考書

「経済法」教授要目に掲げた諸文献。その他の文献は後に紹介するが、代表的なものは図書館にそろえてあるので参照のこと。「経済法」の講義とゼミナールは同時進行なので、ゼミ生の諸君は、これらの参考書によって授業とは関係なく各自勉強を進めなければならない。

桑原教官担当研究指導

1. 研究主題

国際取引法

2. 指導要領

3年次および4年次前半——下記テキストの輪読

4年次後半——卒業論文指導

3. 指導テキスト

Kurkela: *Letters of Credit under International Trade Law* (1984年)

戸島教官担当研究指導

1. 研究主題

LispおよびProlog処理系の開発

数式処理プログラムの開発

端末制御プログラムの開発

CP/Mの customization

2. 指導要領

現在進行中の上記プロジェクトのいずれかに参加して仕事を分担する。

3. 指導テキストおよび参考書

その都度指示する。

沼田教官担当研究指導

1. 研究主題：オペレーションズ・リサーチ

オペレーションズ・リサーチには多数・多種類の分野や手法がある。それらのすべてについて勉強することは不可能であるが、オペレーションズ・リサーチ全般についての基礎的知識、理解を形成することを目的とする。

2. 指導要領：

3年次：外国書を読み、内容を正しく理解することの訓練を重点とする。

4年次：できるだけ早期に卒論作成にかかれるようにしたい。

3. テキスト：

Hamdy A. TAHA, Operations Research an Introduction.
(Macmillan. 1982).

4. ゼミ所属の条件：

イ. 管理科学概論履修済みのこと。

ロ. 応用数学(代数)に合格すること。

ハ. 計算機論 I 不合格の場合は辞退してもらう。

樋口教官担当研究指導

1. 研究主題

社会システム・モデルに関する理論的および実証的研究

2. 指導要領

3年次：テキスト講読とコンピュータ・プログラミング演習。

4年次：テキスト講読および社会システムのモデル構築のためのシステム分析、データ収集、プログラム開発ならびにデータ解析(卒業研究)

ゼミで扱う研究内容は管理科学Ⅱでとりあげたテーマをより詳細にしたものと考えてさしつかえない。したがってそれを必ず受講することを条件とする。

3. テキスト

本年度はまだ未定である。(前年度はシステムダイナミックスに関する文献を主として読んだ。)

山田(一)教官担当研究指導

1. 研究主題

I. Office Automation についての基礎的理論研究(マイコン, オフコンの操作, プロジェクトへの参加によりOAを肌で感じてもらう)

2. II. 組織論

(OAのバックグラウンドである企業組織について文献研究)

III. 組織管理を目指す情報システムの理論構築(OA, FA, MA, LA, HA等の各Automationの融合理論にまで発展させる。

FA=Factory Automation, MA=Management Automation, LA=Laboratory Automation, HA=Home Automation.)

2. 指導要項

商学部のゼミとして、実践的な研究を行う。将来の企業人を養成できると信ずる。卒論のテーマ及び使用するテキスト等は、相談の上決定する。

1) 3年目/①コンピュータの操作及び基礎知識の修得

②使用テキストを決め輪読形式で研究

③実践的なプロジェクトへの参加

2) 4年目/①各自のテーマ設定による卒論の完成

②理論と実践とのマッチングを行う

3. 指導テキストおよび参考書

I. アメリカおよびドイツの組織論についての文献

II. " のManagement Scienceについての文献

III. " のComputer Scienceについての文献

(Iは輪読。II, IIIは各自のテーマにそい選択。いずれも文献は相談の上決定する。)

4. 申込みの条件
- 真の人間尊重をめざした道具（パートナー）としてのコンピュータの活用の実現に向けて、意欲を傾ける努力家を歓迎する。
 - 学科，クラブ所属，性別は問わない。

清水川教官担当研究指導

- 3年次：An Introduction to Probability Theory and Mathematical Statistics V. K. Rohatgi 1976.
- 4年次：統計学的手法を用い実証分析を行う。

杉本教官担当研究指導

- 研究主題
情報処理の基礎理論と応用
- 指導要領
人工知能の手法の理解のため，テキストの精読と実習を行なう。
サブゼミでは 各学生の興味のあるテーマで，database, cobolによる実用的プログラミング，マイクロコンピュータ，ゲームプログラム等のサークル的な研究会を行なう。
- テキスト
Nilsson, N. J., Artificial Intelligence

若林教官担当研究指導

- 研究主題
「管理科学の基礎的研究」に関する理論的お書や実証的研究を専攻する。
- 指導要領
 - 数理計画法とコンピュータ
 - マイコンとオペレーションズ・リサーチ
- 指導要領
 - 管理科学の幅の広いものの見方・考え方を養う。
 - 英語テキストの精読と演習

い) 下記のテーマについて卒業論文の作成と指導

- 数理計画法（モデリング，解法，応用）
 - 情報と組織，ゲーム理論
 - 人工知能（エキスパートシステム，グラフィックス）
 - ネットワーク・グラフ理論
3. 指導テキスト
Robert Sedgewick, *Algorithms*, 1983 を予定。

永原教官担当研究指導

- 研究主題
英米小説及び文芸批評
- 指導要領
3年次：毎週短篇小説一編を読み，発表・討論を行なって文学研究の基礎を養ない，あわせて現代文芸批評についても指導する。
4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心にする。
- 指導テキストおよび参考書
Brooks & Warren, *Understanding Fiction*
E. M. Forster, *Aspects of the Novel*
Wayne C. Booth, *The Rhetoric of Fiction*
原田敬一訳，「MLA 新英語論文の手引」(北星堂)
- 申し込みの条件
 - 商業教員養成課程に所属していること。
 - 英語教員免許のための教職に関する専門科目を24単位以上取得すること。

- 選考の方法（面接・テスト等）
面接を行なう。但し，決定に際しては1年次英語共通試験の成績を参考にする。

君羅教官担当研究指導

1. 研究主題
英文学（シェークスピア及び詩）
2. 指導要領
3年次：毎週英詩数編を読み、発表・討論を行ない、英詩の分析法を中心に文学批評・研究の基礎を養成する。
4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）を最終目的として報告と討論を中心にする。
3. 指導テキストおよび参考書
C. Brooks & R. P. Warren, *Understanding Poetry*, 4th ed. (Holt, Rinehart and Winston, 1976)
F. T. Palgrave: *The Golden Treasury* (Oxford U.P., 1964)
原田敬一訳『MLA新英語論文の手引』（北星堂）
4. 申し込みの条件
(1) 商業教員養成課程に所属していること。
(2) 英語教員免許のための教職に関する専門科目を24単位以上取得のこと。
5. 選考の方法（面接・テスト等）
面接による。ただし、決定に際しては1年次英語共通試験の成績を参考にする。（テストを課す場合もある）。

下村教官担当研究指導

言語音声学（Linguistic Phonetics）の研究指導をします。今年度は、①音声学素論 ②生成音韻論 ③実験音声学を中心に指導します。夏休みは音声学徒としての自覚を促す目的で、日本国内に残るシャーマン歌謡の収録というフィールド・ワークにでかける予定です。

来年度は、各自の関心に応じたテーマを設定し、研究論文にまとめあげる手助けをします。この論文には、必ず実験音声学による資料の解析結果が盛り込まれていなければなりません。

④ 英語テキストの精読と演習

IV 一般教育ゼミ

一般教育ゼミ（数学） 助教授 兼 岩 龍 二

今年度はテキストとして

ファン・デル・ヴェルデン著 銀林浩訳 現代代数学 I 東京図書
を用い、輪読形式で皆さんに講義をしていただくこととなります。学年・既履修科目は問いません。したがって初学年の方の参加も歓迎します。
参加希望者は4月22日(月)17時に小生の研究室に集まって下さい。尚、昨年からひきつづいている「数理論理学序説」の方のゼミもこの日に一緒に日時の相談をしたいと思っておりますので、こちらの方の参加希望者もこの日に集まって下さい。

(6) 新しいパラグラフの始めは、句読点の直前に「(」を挿入する。
(7) 句読点などは1字とする。ただし、行末の句読点は「ブラサゲ」として、マスの欄外に書き、次行のはじめにはもってゆかぬ。
⑧ 数字と文字の混在は、数字はアラビア数字で、文字は漢字とする。ただし、数字と文字の混在は、数字はアラビア数字で、文字は漢字とする。ただし、数字と文字の混在は、数字はアラビア数字で、文字は漢字とする。

表とグラフは、グラフ用紙や集計用紙に書いて、表は表紙の裏面に、グラフは表紙の裏面に貼りつける。場合によっては「別表」として論文の末尾にまとめてよい。原稿用紙と同じサイズになる場合には、はりつけずに、表裏表紙の裏面に貼りつける。表とグラフは、グラフ用紙や集計用紙に書いて、表は表紙の裏面に、グラフは表紙の裏面に貼りつける。場合によっては「別表」として論文の末尾にまとめてよい。原稿用紙と同じサイズになる場合には、はりつけずに、表裏表紙の裏面に貼りつける。

⑨ 参考文献の記載は、論文の末尾に「参考文献」として記載する。参考文献の記載は、論文の末尾に「参考文献」として記載する。参考文献の記載は、論文の末尾に「参考文献」として記載する。

V 「注」

V 卒業論文執筆要領

卒業論文の形式について一般的な原則をのべるが、専攻分野ごとに、用語・文献の引用方式・記号の利用などに差があるので、指導教官の指示に従うこと。

I. 用紙など

和文で執筆する場合には、所定の原稿用紙を使用し、黒またはブルー・ブラックのインクを用いる。油性インクのボールペンは避けた方がよい。文字は楷書とし、誤字・脱字に注意する。多色にする必要がある場合にも一定の方針をたてて統一し、さらに、必要最低限の多色化にとどめること。欧文で執筆する場合には、通常サイズの白地のタイプライター用紙にタイプ印刷する（いわゆるオニオンスキンは使用しない）。

II. 提出期限など

今年度は、1月31日17時（時間厳守）なので十分留意すること。仮り綴じのうえ、附属図書館で図書返却の確認を受けたのち、製本料を添えて教務係に提出する。仮り綴じのためには、教務係のドリルを使用してもよい。製本料は確定次第掲示で通知する。

表紙のみ、あるいは目次程度、または序章程度といった論文とは認めがたい卒業論文は受理しない。

III. 表紙および裏表紙

表紙と裏表紙は本文と同一の用紙を用いる。表紙には論文のタイトル、氏名、学生番号、ゼミナール名、および提出年度（昭和60年度提出）を記し、裏表紙に図書館の確認印を受ける。タイトル等は原簿に記入され、成績証明書、図書館の目録カード、製本後の背表紙の書きこみ等の場合に必要になるので、正確に書くこと。なお、副題をつける場合には、その左右を棒線ではさむ。

IV. 「はしがき」と「目次」

「はしがき」（「まえがき」、「序」）にはテーマを選択した動機などを書く。なお、指導や助言を受けた人達、調査等に協力した人達に対する謝辞もここに書く。ただし、「はしがき」は省略してもよい。「はしがき」と「あとがき」の両方を書くことは、卒業論文の場合、概して不適當である。

「目次」は「表紙」または「はしがき」の次の用紙に書く。必要に応じて、「表目次」、「図目次」を別につけ加えてもよい。

V. 本文

- (1) 文体は「……である」の形とし、なるべく簡潔な文章とする。
- (2) 新しい章は新しいページから始める。
- (3) 章題と文章、あるいは、章題と節題の間は1行あける。
- (4) 章（節）の番号と章（節）題の間は1マスあける。
- (5) 各節の間は2行あける。
- (6) 新しいパラグラフの始めは1マスあける。
- (7) 句読点などは1字とする。ただし、行末の句読点は「ブラサゲ」として、マスの欄外に書き、次行のはじめにはもってゆかない。
- (8) 欧字と算用数字は、原則として2字で1マスとする。
- (9) 欧文イタリック文字は、単語の下または文章の下にアンダーラインを引いて示す。

VI. 図表

表とグラフは、グラフ用紙や集計用紙に書いて、原稿用紙の当該箇所にはりつける。場合によっては「別表」として論文の末尾にまとめてよい。原稿用紙と同じサイズになる場合には、はりつけずに、そのまま1ページ分として綴じこんでもよい。他の文献等の図表のコピーをそのまま利用することは、特別の場合を除いて、避けるべきである。計算機のプリントアウトは、サイズがあえば、そのまま1ページとしてよい。これらの場合に、製本のとくにへりを数ミリメートル切り落すことがあるので、上下左右は十分にマージンをとっておくことが必要である。また、図表には出所を明記する。

VII. 「注」

指定原稿用紙では「脚注」をつけることができる。しかし、1つの注を3ページ以上に分けることは不適當であるから、長い注については工夫が必要である。注は各章の終りにまとめて書いてもよい。なお、注のなかに注をおいてはいけない。

Ⅷ. 引用文献、参考文献、および引用について

文献からの引用には必ず「」(欧文引用のときには“ ”)をつけ、その文献を注などで明示する。なお、原典自体のなかに「」(または“ ”)が含まれる場合には、原典中「」(または“ ”)を『』(または‘ ’)に代える。要約して引用するときには、原文の文意を損わないようにし、更に要約引用の範囲が分るように、出典と引用箇所を(たとえば注を用いて)明示する。「孫引き」は、できるだけ避けて、原典にあたってチェックすべきであるが、やむを得ない場合には再引用であることを明記する。

引用文献、参照文献は注番号を明示したうえで、脚注部分に記載するか、または論文末尾(または各章末尾)に一括して記載する。文献記載の原則は次の通りである。

和 書

著者名『書名』、出版社名、出版年。
または
著者名『書名』(出版社名、出版年)。

引用ページを明示する場合には、このあとに引用ページを書く。

<例> 藤瀬浩司『資本主義世界の成立』(ミネルヴァ書房、1980年)、56頁。

小宮隆太郎・天野明弘『国際経済学』、岩波書店、1972年、pp. 8-10。

翻訳書の場合にも

<例> J. ブーヴィエ(井上隆一郎訳)『ロスチャイルド』(河出書房新社、1966年)、第3章。

R. A. Mundell, *International Economics*, New York: Macmillan, 1968, (渡辺・箱木・井川訳『国際経済学』、ダイヤモンド社、1971年)。

などが通常の形式である。(なお、以上は文献を引用するときの原則であるから、提出卒業論文の表紙のタイトル全部を『』でかこんではならない。)

和雑誌のなかの論文(および論文集の中の一つの論文)

著者名「論文名」、『雑誌名』第△△巻、第△号(発行年)。

著者名「論文名」、編者名『書名』出版社名、出版年。

(または、著者名「論文名」、『書名』(編者名)出版社名、出版年)。

などとする。

<例> 関口尚志「イングランド銀行バーミンガム支店」、『経済学論集』(東京大学)第47巻第2号、××頁。

岡田純一「近代経済学とスミス」、経済学史学会編『国富論の成立』、岩波書店、1976年、p. 345。(複数ページの場合、pp. 345 ~ 351.)

洋書および洋雑誌のなかの論文

著者名、書名、出版地：出版社、出版年

著者名、“論文名”、雑誌名、Vol. 巻数、No. 号数(発行年)

等とする。ただし、出版地：出版社を()に入れることもある。また“論文名”、雑誌名の代りに“論文名”、雑誌名とすることも多い。著者名は **A. Smith** とする場合と **Smith, A.** とする場合の両方があるが、著者名が2つ以上並ぶ(共著の)場合に、2人目以後の人名については、**A. Smith**(または **Adam Smith**)のようにファースト・ネームを先に書くのが一般である。雑誌の **No.** 号数はしばしば省略する。また、**Vol.** および **No.** の代りに **vol.** および **no.** とすることも多い。

これらについては、標準的な図書および雑誌を参照して、もっとも適當と思われるものを選択したうえで、統一して使用する。

さらに、op. cit.、loc. cit.、Ibid.、(または ibid.) 等もよく利用される辞書などで意味を調べて、誤用しないことが必要である。

参考文献

パーカー, W.R. 監修 (原田敬一訳) 『MLA 英語論文の手引— The MLA Style Sheet—』 (北星堂書店, 改訂版, 1969年)。

トウラビアン著 (高橋作太郎訳) 『英語論文の書き方』 (研究社出版, 1982年)。

※ この要領をまとめるに当っては, 何人かの教官の御協力をいただいたが, とくに、『井上ゼミナール用卒業論文執筆要領』と佐竹教官がまとめたメモとを参照した。

注(1) 書名, 雑誌名についているアンダーラインはイタリックを使用せよという指示である。

注(2) op. cit., loc. cit., Ibid., は, 引用によってローマン体を使うかイタリック体を使うかわかる。

<例> op. cit., (前掲の意味) で前掲が, 論文名であればローマン体, 前掲が書名, 雑誌名であればイタリック体を使用する。

loc. cit., (上記引用文中), Ibid., (同上) も同様である。

なお, Ibid については, 先頭に来る時は大文字となる。